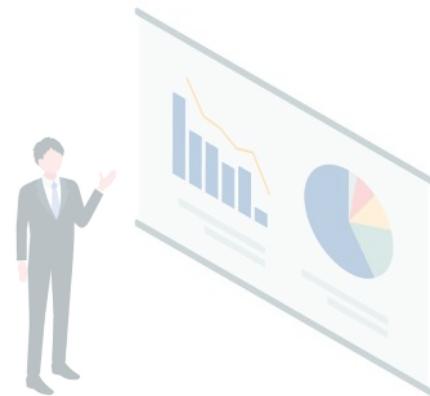


北部エリア補完的移動手段(デマンド交通)の 運行方針(案)について

日時:令和7年10月7日(火) 午後2時から

場所:八千代市役所 旧館4階第2委員会室



1 北部エリアにおける補完的移動手段検討の経緯

八千代市地域公共交通計画の策定(令和6年3月), 実施事業への位置付け

1

実施事業8 地域にふさわしい補完的移動手段の検討 ①北部エリアにおける補完的移動手段の検討

北部エリアは、鉄道駅から離れており、バスの運行本数も少ないことから、自宅から最寄りの駅やバス停等までの道のり(又は最寄りの駅やバス停等から自宅までの道のり)のいわゆるファースト・ラストワンマイル対策のため、補完的な交通手段について検討していく

→ニーズを詳細にヒアリングし、既存公共交通との共存や事業の持続性を考慮した上で、実証運行に向け、地域にふさわしい補完交通を検討する

令和6年度第2回八千代市地域公共交通会議の開催(令和7年1月)

2

補完的移動手段検討の基本的な方向性を協議し、分科会を設置して、手法の選択等のより詳細な内容の議論を行うことを決定した

【基本的な方向性】

- 1 実証運行を視野に入れた検証
- 2 既存公共交通との共存と連携
- 3 可能な限り経費の圧縮
- 4 指標や目標値は他自治体等を参考に設定
- 5 目標値は段階的な設定とし短期間での結論は出さない



3

北部エリア補完的交通検討分科会の設置(令和7年2月)

北部エリアにおける補完的交通に関する専門的な調査及び検討に関する協議を行う
路線バス事業者、タクシー事業者、学識経験者、自治会代表、社会福祉協議会支会長、八千代市社会福祉協議会の方々に委員を委嘱した

1 北部エリアにおける補完的移動手段検討の経緯

4

令和7年度第1回北部エリア補完的交通検討分科会の開催(令和7年7月4日)

補完的移動手段の手法はデマンド交通として、地域との意見交換を進めることとし、地域にあった具体的な運行方針案について検討をしていくことと決定した

自宅から近い乗降場所、待ち時間の少ない交通手段等の
地域ニーズに対応できる補完的移動手段はデマンド交通

5

地域の詳細ニーズ調査の実施(令和7年8月～9月)

デマンド交通の運行方針(案)の検討に当たって、以下の方法で地域のニーズを確認した

1 地域の代表者との 意見交換の実施



地域の実情に精通されており、地域の代表者と意見交換を実施し、ニーズを確認した

2 ニーズ調査票の郵送



北部エリアにお住まいの2,000人に調査票を郵送し、ニーズを確認した



6

令和7年度第2回北部エリア補完的交通検討分科会の開催(令和7年9月22日)

デマンド交通の運行方針(案)について、分科会で決定した

7

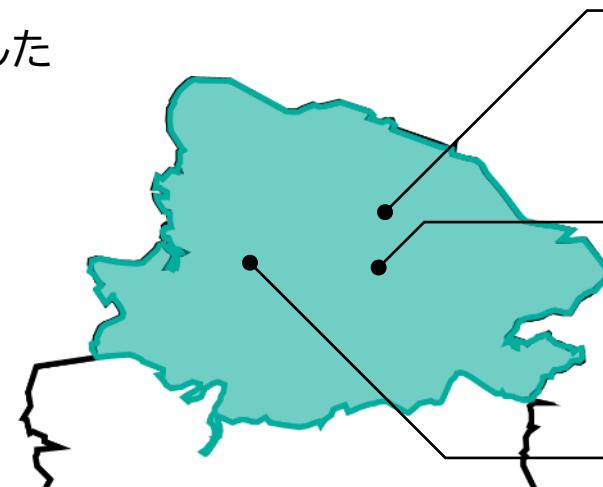
令和7年度第2回地域公共交通会議(令和7年10月7日)

分科会で決定したデマンド交通の運行方針(案)について、協議を行う

2 地域の詳細ニーズ調査

1 地域の代表者との意見交換の実施

地域の代表者や住民に対して意見交換を実施しました
(米本団地自治会, 阿蘇北部支会, 睦支会で計3回)



米本団地自治会
場所:米本団地集会所
日時:8月3日
人数:29名
(自治会長, 米寿会員, 自治会員等)

阿蘇北部支会
場所:米公会堂
日時:8月4日
人数:10名
(福祉委員等)

睦支会
場所:睦公民館
日時:9月6日
人数:19名
(自治会長・区長, 福祉委員, 民生委員等)

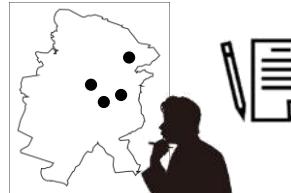
当日の実施内容



資料を使い説明



意見交換, 質疑応答



ニーズ調査票の記入
乗降ポイントマップの作成

2 地域の詳細ニーズ調査

意見交換でいただいた主なご意見

■ デマンド交通に関する主なご意見

- ・乗降ポイントは家の前にあるとよい【米本団地】
- ・デマンド交通はもえぎ野線が運行していない時間帯で必要【阿蘇北部】
- ・高齢者の中には、数百m先の乗降ポイントまで歩いていくのが困難な方もいる。きめ細かな乗降ポイントを設定してほしい【睦】

調査票の集計結果と所見

■ 日常での移動のしやすさについて

- ・外出時の交通手段がなく困っている、困ることがある、その他の割合は約5割であった
阿蘇北部では、交通手段がなく困る場合に外出をあきらめてしまう割合は約3割であった
→路線バスは走っているものの、バス停までの距離が遠い、便数が限られているなどの理由により、利用できていない方が潜在的に存在すると考えられる

■ デマンド交通について

- ・利用したい時間は、午前中の利用希望が約5割であった
阿蘇北部では午後の早い時間(13時～14時)での利用希望も多かった
→阿蘇北部ではもえぎ野線が運行していない時間帯と重なっている
- ・利用したい頻度は、週1～2日の利用希望が約3割、月2～3日の利用希望が約4割であった
米本団地では週1～2日を選んだ方が最も多く、阿蘇北部と睦では月2～3日を選んだ方が最も多かった
→米本団地では一部路線でバスの便数が限られており、代替移動手段としてニーズがあると考えられる
- ・エリア外の乗降ポイントで利用希望の多い目的地は次のとおりであった
【米本団地】市役所・福祉センター 【阿蘇北部】勝田台駅 【睦】八千代中央駅
→地域により目的地は異なる

2 地域の詳細ニーズ調査

2 ニーズ調査票の郵送

実施概要

対象者 :八千代市内の北部エリアにお住まいの15歳以上(中学生を除く)の方の中から無作為に抽出した2,000人

調査期間：令和7年8月28日(木)～令和7年9月10日(水)

回答方法：郵送またはインターネットによる回答

～ニーズ調査票及び説明資料(イメージ図)～

<p>デマンド交通（予約型乗合タクシー）に 関するニーズ調査票</p> <p>あわせのりの運行（タクシーや交通（市町村タクシー）認証制度）をご存じな うでから回答してください。</p>	
<p>1 日常生活での移動手段やしますかおきめし。</p>	
<p>是 否</p>	
<p>1) 当日はいつも公共交通機関でなくどこかでありますか。(いくつにチェックしてく ださい)</p>	
<p>□ 自分の車や自転車等</p>	
<p>□ 家まで歩くのが普通でなく、自転車等でなく車であります。</p>	
<p>□ 家まで歩くのが普通でなく、車でなくとも自転車などといふ車であります。</p>	
<p>□ バスやタクシー等であります。</p>	
<p>□ 他の公共交通機関であります。</p>	
<p>□ 駅やバスターミナル等であります。</p>	
<p>□ 自由な出で場所であります。</p>	
<p>□ その他(記入欄へ)</p>	
<p>(2) 1) で選択したときに最も手がかりになります。</p>	
<p>1) このうち最も手がかりなものは何ですか。(はては最も手がかりにはよ りうでからください)</p>	
<p>□ 運賃、渋滞 □ 営業時間 □ 路線、路線網 □ 食事の料金 □ 乗り物の料金 □ 乗車料金 □ おもてなしの態度、接客態度 □ その他(記入欄へ)</p>	
<p>(2) どのくらいの割合で同じにありますか。(はては最も手がかりによ りうでからください)</p>	
<p>□ 不思議なことあるとき、タクシーを公用車 □ 不思議なことあるとき、タクシーを公用車 □ 不思議なことあるとき、タクシーを公用車 □ 不思議なことあるとき、タクシーを公用車 □ 外出するときはあらぬもの</p>	

2. 名前アリ/アリに迷うを判断している事務手段についてお聞かせ下さい。

（例）「アリ」又は「アリ」（どちらかをマーク）――ご選択ください。

- (1) 判定しないと困る場合は、さういふ場合はどうですか？

□ 今持一本	□ 10本以内	□ 11本～12本
□ 13本～14本	□ 15本～16本	□ 17本～18本
□ 19本～20本	□ 21本～22本	□ その他（ ）

- (2) 判定しないと困る場合は、さういふ場合はどうですか？

□ 口 球 口 球	□ 木 口 木 口	□ 土 口 土 口
□ 丸 口 丸 口	□ 木 口 木 口	□ 土 口 土 口

- (3) 判定しないと困る場合は、さういふ場合はどうですか？

□ 5日～10日（第2回～4回）	□ 11日～12日（第2～3回）
□ 13日～14日	□ 15日～16日
□ その他の（ ）	

- (4) 判定しないと困る場合は、さういふ場合はどうですか？

□ 週1回	□ 週2回	□ 週3回
□ 週4回	□ 週5回	□ 週6回
□ 週7回	□ 週8回	□ その他（ ）

- (5) お手元の会員登録用紙で、出せる掛けの乗り合い会員登録として選択する項目に迷う場合は、迷う項目を複数記入して下さい

□ 会員登録用紙	□ 会員登録用紙	□ 会員登録用紙
□ その他の（ ）		

- (6) お手元の会員登録用紙で、(4)で迷う項目の問題地としてあたるかたがいる場合は、（複数回答可）おなじみの会員登録用紙

□ 男	□ 女	□ ハーフ	□ クロス	□ その他（ ）
□ 会員登録用紙	□ 会員登録用紙	□ 会員登録用紙	□ 会員登録用紙	□ 会員登録用紙
□ その他の（ ）				

(7) 判定しないと困る場合は、さういふ場合はどうですか？（複数回答可）

□ 小学生用紙	□ 小学生用紙	□ 小学生用紙
□ 中学生用紙	□ 中学生用紙	□ 中学生用紙
□ 高生用紙	□ 高生用紙	□ 高生用紙

The screenshot shows a slide from a presentation titled "Demand Transport (Reservation-type Shared Taxi) Introduction Materials". The main heading is "Demand Transport (Reservation-type Shared Taxi)" with a subtitle "What is Demand Transport?". Below this, a sub-section says "Users make reservations online to share a taxi with multiple passengers". A large text box contains the following text:

利用者は電話またはWebで予約します。

料金は運行コストの割合です。今日の12時から発売ポイントの●●●で乗車料金▲▲▲で行くための料金。手数料は99円

オペレーターが予約を受け付けます。

運送業者です。申請された料金を支払う料金を乗車料金●●●で乗車料金▲▲▲で受け取る料金を配布します。

車両は運行ルートを経由して、利用者を乗せ目的地まで向かいます。

オペレーターは届いた予約を確認し、迎えに行く場所と乗車場所を確認して車両を配布します。

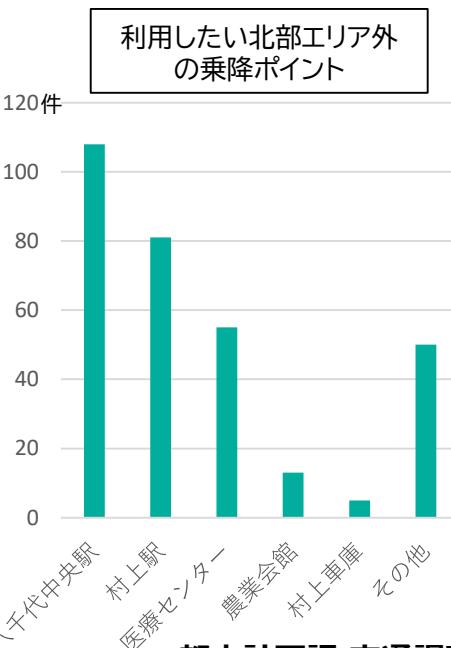
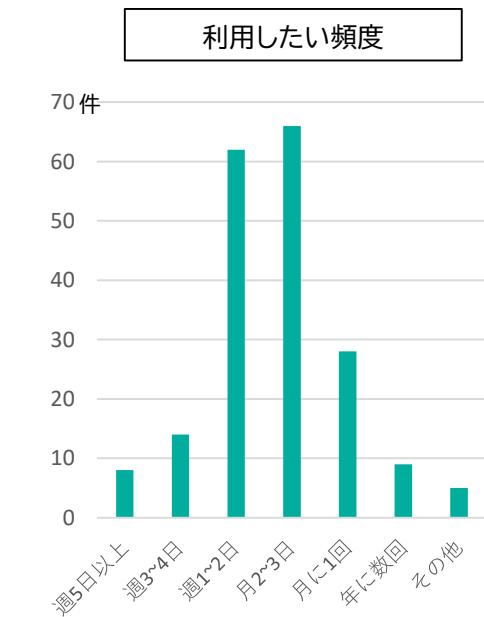
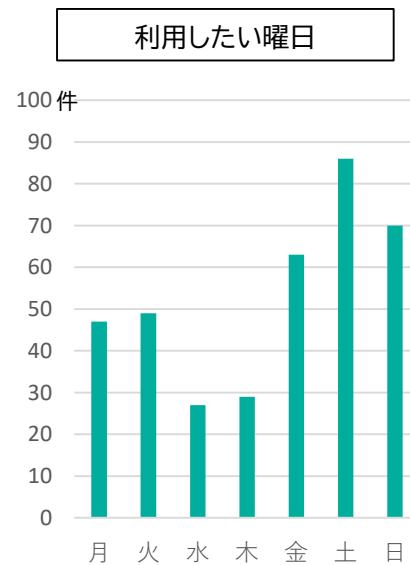
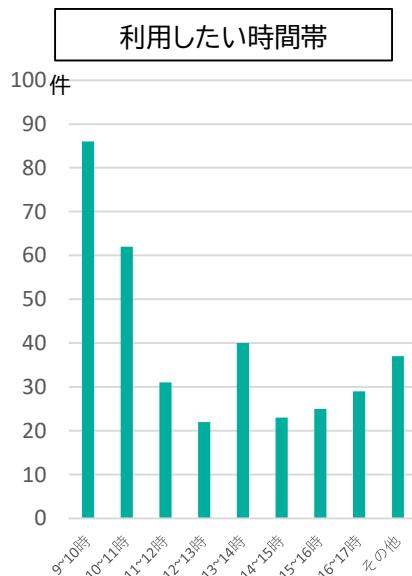


2 地域の詳細ニーズ調査

② ニーズ調査票の郵送

実施結果

- ✓ 送付件数: 2,000件
- ✓ 回答件数: 501件 ※郵送回答: 347件 インターネット回答: 154件
- ✓ 時間帯: 9~11時までの利用希望が多く、13~14時の利用希望も多い
- ✓ 曜日: 金~日の利用希望が多く、水、木の利用希望が少ない
- ✓ 頻度: 週1~2日、月2~3日の頻度での利用希望が多い
- ✓ 下記グラフは問1の設問で困っている、困ることがある、その他を回答した199件の集計結果



YACHIYO CITY



3 デマンド交通の運行方針(案)

運行目的:自宅から最寄りの駅やバス停等までの道のり、いわゆるファースト・ラストワンマイル対策

- ①運賃の目安 目的地によって運賃が異なります
 約500円～約1,000円程度
- ②利用対象者 八千代市の北部エリアにお住まいの方
- ③運行時間 毎日 7:00～17:00
- ④利用方法 利用者登録後、電話またはWebで予約
- ⑤乗降ポイント配置の考え方

<北部エリア内>

主要乗降ポイント: ●…公共施設(自治会館等), 病院, スーパー等

一般乗降ポイント: ●…地域内の道路, ごみ集積場等

※乗降ポイントは、公共施設を除き、バス停から300m以内に設定しない

<北部エリア外>

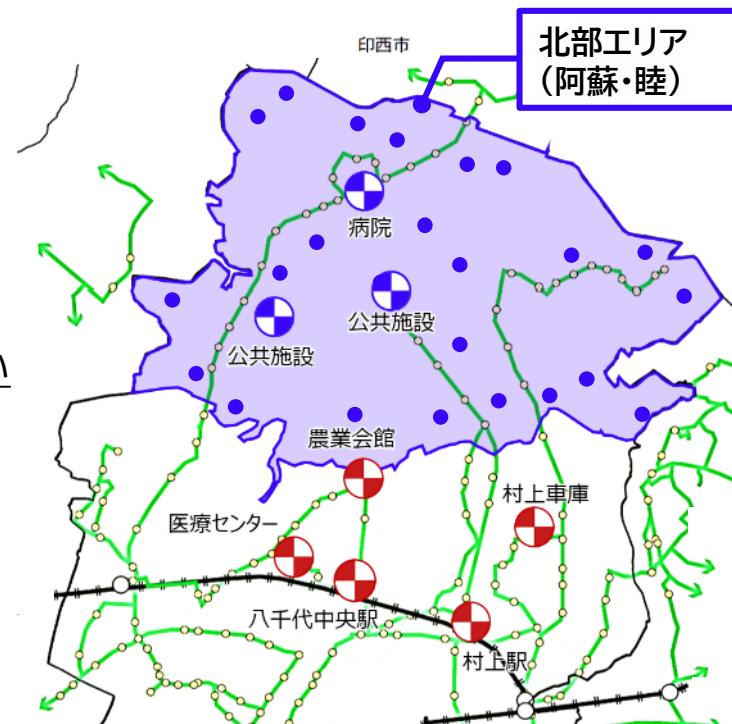
乗降ポイント: ●…鉄道駅や主要バス停留所, 医療センター等

- ⑥運行台数 3台

- ⑦実証運行期間 実証運行開始から1年半から2年程度

- ⑧運行目標 1日6人/台

- 北部エリア内 の主要乗降ポイント
- 北部エリア内 の一般乗降ポイント
- 北部エリア外 の乗降ポイント



乗降ポイント別の移動イメージ(例:自宅 ●→東栄寺 ●→陸郵便局 ●→友人宅 ●)

		目的地		
		北部エリア内		北部エリア外
		●	○	●
出発地	北部エリア内	●	○	○
	●	○	○	○
	○	○	○	○
北部エリア外	●	○	○	×
	○	○	○	○

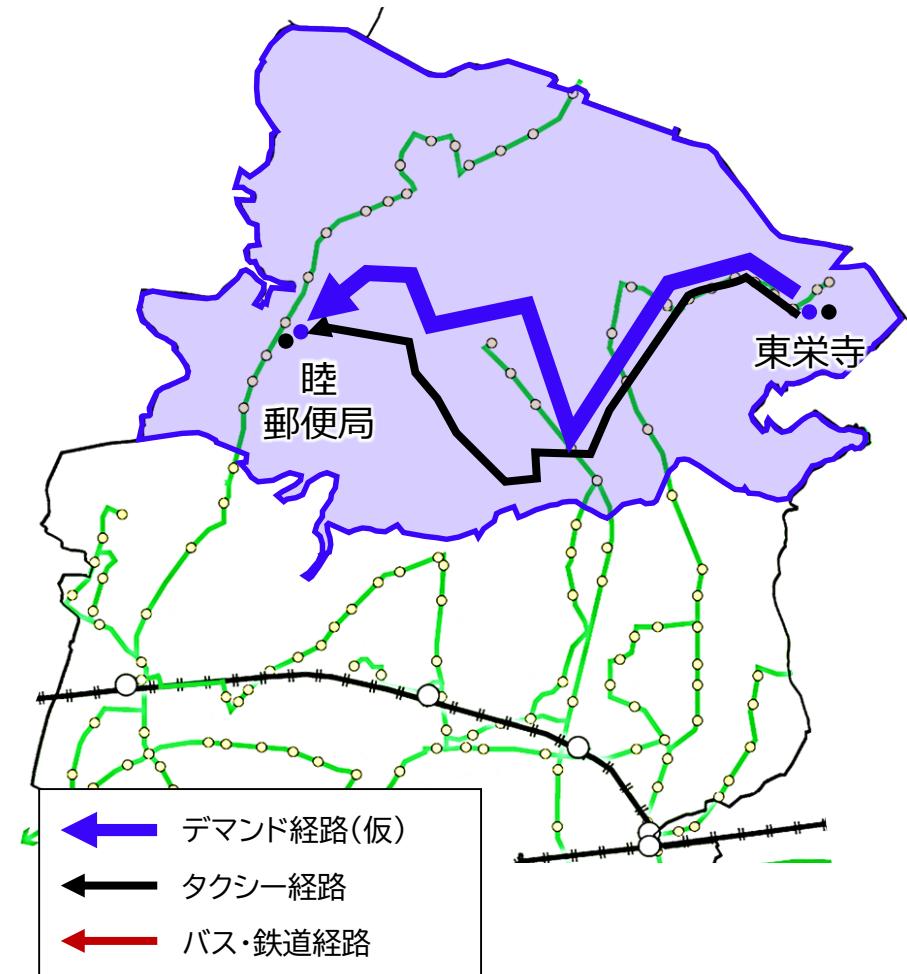
<運賃>

デマンド交通:約500円程度

(参考)

バス・鉄道:無

タクシー:約4,100円(7.5km)



乗降ポイント別の移動イメージ(例:自宅 ●→東栄寺 ●→道の駅やちよ ○)

		目的地		
		北部エリア内		北部エリア外
		●	○	○
出発地	北部エリア内	●	○	○
	北部エリア内	○	○	○
	北部エリア外	○	○	×

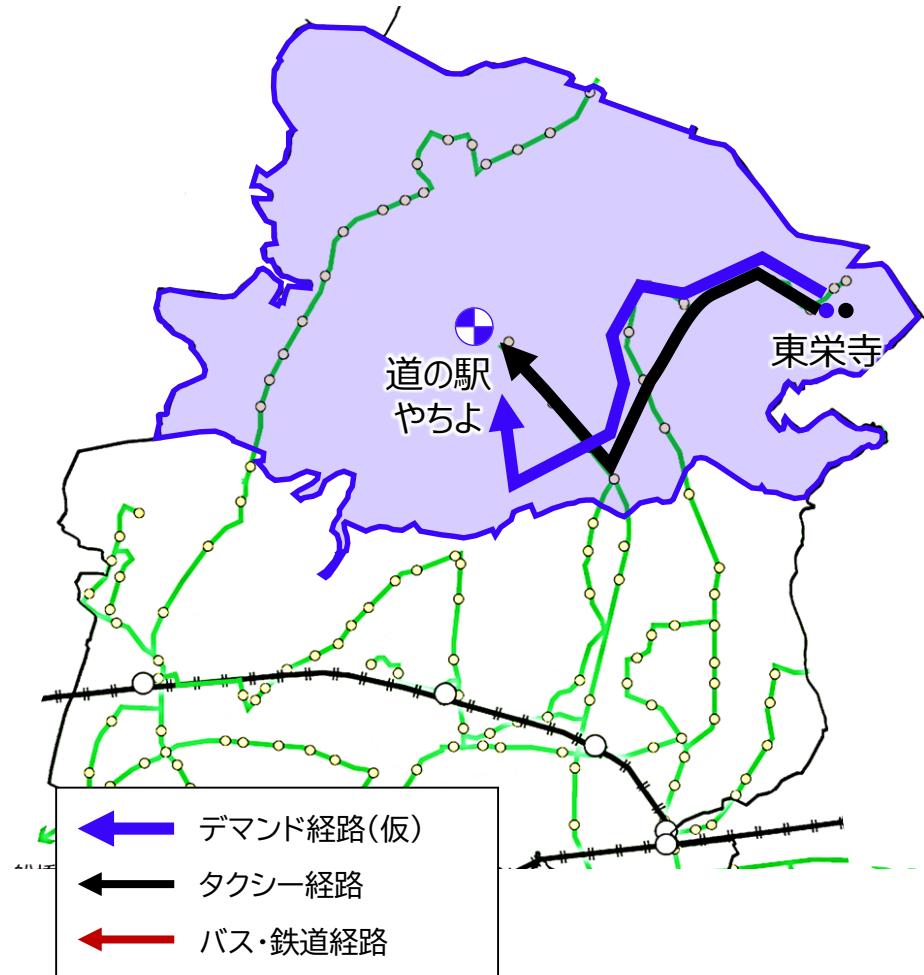
<運賃>

デマンド交通:約500円程度

(参考)

バス・鉄道:無

タクシー:約2,800円(4.4km)



乗降ポイント別の移動イメージ(例:自宅 ●→東栄寺 ●→八千代中央駅 ○)

		目的地		
		北部エリア内		北部エリア外
		●	○	○
出発地	北部エリア内	●	○	○
	北部エリア内	○	○	○
	北部エリア外	○	○	×

<運賃>

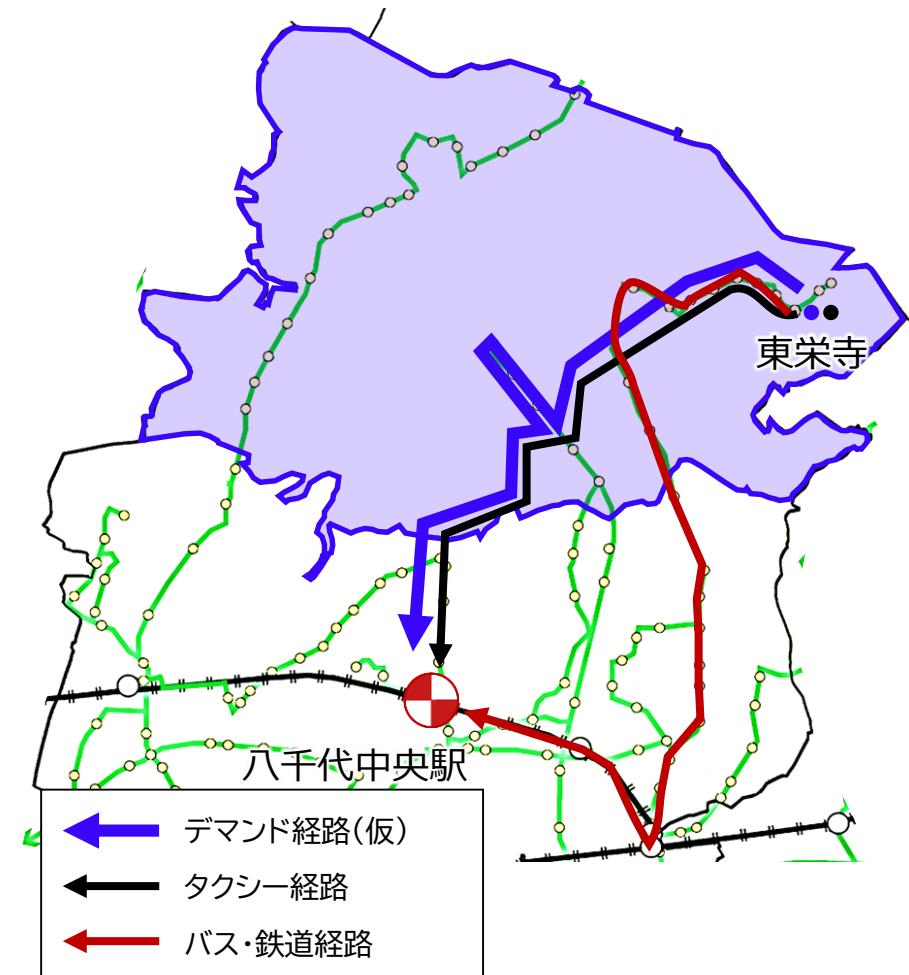
デマンド交通:約1,000円程度

(参考)

バス・鉄道:560円

※もえぎ野車庫→勝田台駅:350円, 東葉勝田台駅→八千代中央駅:210円

タクシー:約3,400円(5.9km)





デマンド交通（予約型乗合タクシー）の運行内容(案)

※地域のニーズを把握した後に運行内容を決めるため、下記は現時点の運行内容（案）となります

- 運賃の目安　目的地によって運賃が異なります
約500円～約1,000円程度

- 運行時間　9:00～17:00

- 利用方法　市役所に利用者登録申請後
電話またはWebで予約し利用

- 利用区間
 - ・北部エリア内の乗降ポイント間
 - ・北部エリア内の乗降ポイント（右図の❶）
⇒エリア外の乗降ポイント（右図の❷）

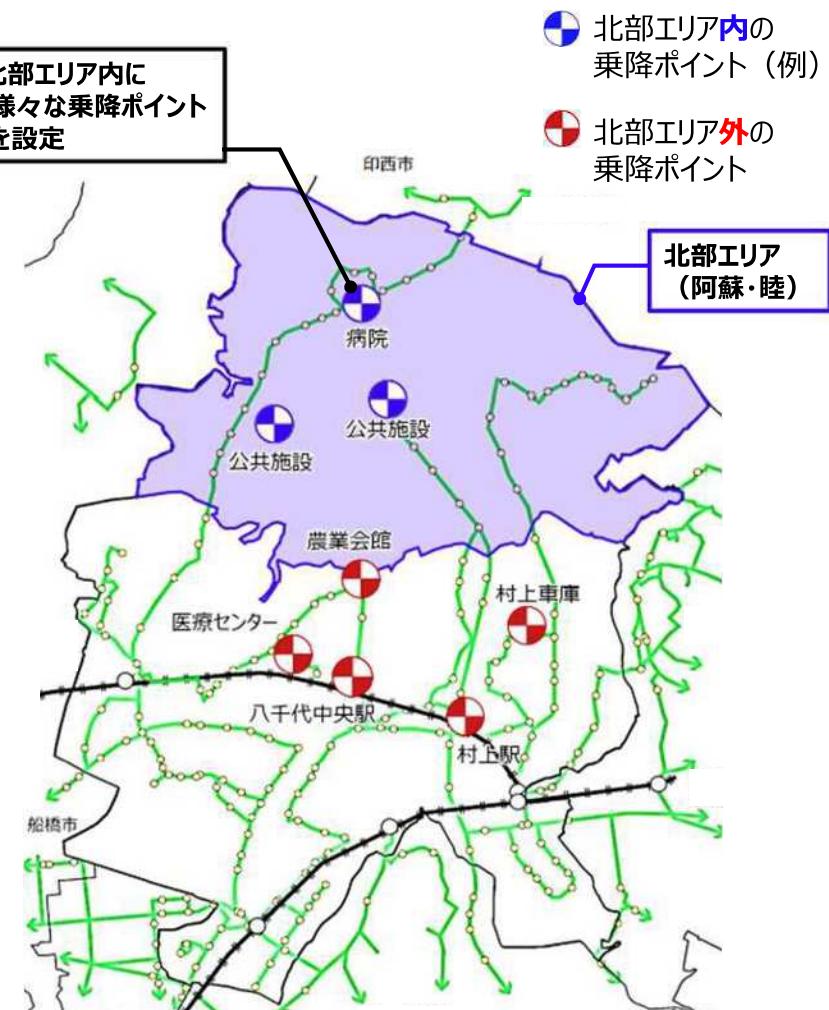
●乗降ポイントの（例）

<北部エリア内> 病院、自治会館、コンビニ、集落等に設定

<北部エリア外> 鉄道駅や主要バス停留所、医療センター等に限定

※北部エリア外の乗降ポイント間の乗車は不可。
(例：農業会館と八千代中央駅の間)

※北部エリア内に
様々な乗降ポイント
を設定



デマンド交通(予約型乗合タクシー)とは…

利用者の予約をもとに 1 台のタクシー車両に複数の人が乗り合わせる運行方法です

利用者は電話またはWebで予約します。



利用者番号〇〇の服部です。
今日の12時に乗降ポイント
の●●●で乗って▲▲▲まで
行きたいのですが、予約できま
すか

オペレーターが予約を受け付けます。



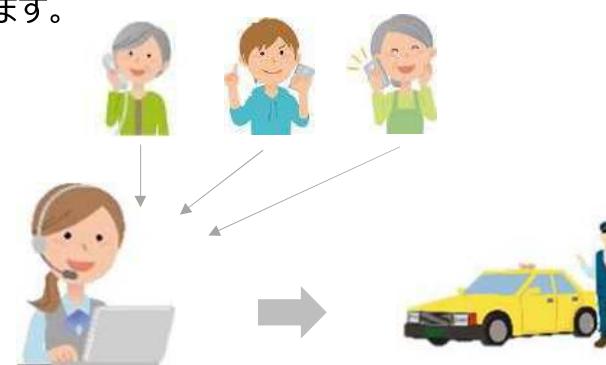
服部様ですね。車両に空きが
ございますので予約を受け付
けいたします。乗降ポイントの
●●●で12時にお待ちください。

車両は運行ルートを確認して、利用者を
乗せて目的地まで向かいます。



1
2
4
3

オペレーターは複数の予約を取りまとめ、迎え
に行く場所と送る場所を確認して車両を配車
します。



デマンド交通（予約型乗合タクシー）に関するニーズ調査票

あらかじめ別添の「デマンド交通（予約型乗合タクシー）説明資料」をご覧になってから回答してください。

1 日常生活での移動のしやすさについてお聞きします。

問1 外出する時に交通手段がなくて困ることがありますか。（1つに□チェックしてください）

- 自分で自家用車やバイク、自転車を運転できるため、困ることはない⇒問3へ
- 家族や知人が送迎してくれるため、不便なときはあるが困ることはない⇒問3へ
- 主にタクシーを利用するが、待ち時間や運賃等で困ることがある⇒問2へ
- バス停や駅まで歩いていき、バスや鉄道を利用することはできるが、便数、運賃等で困ることがある⇒問2へ
- 自力での外出が困難であり、困っている⇒問2へ
- その他（ ） ⇒問2へ

問2 問1で困ることがあるに□を付けた方にお聞きします。

(1) どのような目的で外出する時に困ることが多いですか。（当てはまるものに□チェックしてください）

- 通勤・通学 買い物 通院 食事・飲み会
- 公共施設利用 金融機関利用 遊び・趣味・習い事等
- その他（ ）

(2) 交通手段がなくて困る時には、どのようにされますか。（当てはまるものに□チェックしてください）

- 不便なときもあるが、タクシーを利用する
- 不便だが、路線バスを利用する 家族・友人などに送迎してもらう
- 介護サービスを利用する 徒歩または自転車で移動する
- 外出するのをあきらめる その他（ ）

2 北部エリアに導入を計画している移動手段についてお聞きします。

問3 デマンド交通（予約型乗合タクシー）についてお聞きします。

(1) 利用したいと思う時間帯（2つまで□チェックしてください）

- | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 9時～10時 | <input type="checkbox"/> 10時～11時 | <input type="checkbox"/> 11時～12時 |
| <input type="checkbox"/> 12時～13時 | <input type="checkbox"/> 13時～14時 | <input type="checkbox"/> 14時～15時 |
| <input type="checkbox"/> 15時～16時 | <input type="checkbox"/> 16時～17時 | <input type="checkbox"/> その他（ ） |

(2) 利用したいと思う曜日（2つまで□チェックしてください）

- 月 火 水 木 金 土 日

(3) 利用したいと思う頻度（1つに□チェックしてください）

- 週に5日以上 週に3～4日 週に1～2日 月に2～3日
- 月に1回程度 年に数回程度 その他（ ）

(4) 利用したいと思う用途（当てはまるものに□チェックしてください）

- 通勤・通学時の移動 日常の買い物 通院時の移動
- 趣味・習い事時の移動 その他（ ）

(5) 北部エリア内 の乗降ポイントで、出かける際の乗り合い場所として
あった方が良いと思うポイント（当てはまるものに□チェックしてください）

- 自治会館・地域の集会所 商店 ごみ集積場所
- その他（ ）

(6) 北部エリア内 の乗降ポイントで、(4)で回答した用途の目的地として
あった方が良いと思うポイント（2つまで□チェックしてください）

- 学校 スーパー コンビニエンスストア 病院・クリニック
- 道の駅やちよ 支所・連絡所 公民館 自治会館・集会所
- その他（ ）

(7) 利用したいと思う北部エリア外 の乗降ポイント（2つまで□チェックしてください）

- 八千代中央駅 村上駅 八千代医療センター 農業会館
- 村上車庫 その他（ ）

お忙しい中、調査にご協力ください誠にありがとうございました。

都 第 507 号

令和 7 年 10 月 1 日

八千代市地域公共交通会議

会長 若林 邦典 様

八千代市地域公共交通会議

北部エリア補完的交通検討分科会

会長 鎮目 明央

令和 7 年度第 2 回北部エリア補完的交通検討分科会の協議結果について

令和 7 年 9 月 22 日に開催いたしました令和 7 年度第 2 回北部エリア補完的交通検討分科会について、北部エリア補完的交通検討分科会設置要領第 6 条により、協議結果を下記のとおり報告いたします。

記

1 議題 デマンド交通の運行方針（案）について

2 協議結果 賛成者全員により別紙「デマンド交通の運行方針（案）」のとおり決定

採決結果：賛成 9 名、反対 0 名

3 添付資料

(1) デマンド交通の運行方針（案）

(2) 令和 7 年度第 2 回北部エリア補完的交通検討分科会議事録

(3) 資料 1 「令和 7 年度第 2 回北部エリア補完的交通検討分科会」

資料 2 「ニーズ調査関連資料」

担当：八千代市都市整備部都市計画課

交通調整班（地域公共交通会議事務局）

電話 047-421-6771（直通）

E-mail tosikei3@city.yachiyo.chiba.jp

デマンド交通の運行方針（案）

運行目的：自宅から最寄りの駅やバス停等までの道のり
いわゆるファースト・ラストワンマイル対策

■運賃の目安　目的地によって運賃が異なります

約 500 円～約 1,000 円程度

■利用対象者　八千代市の北部エリアにお住まいの方

■運行時間　毎日 7:00～17:00

■利用方法　利用者登録後、電話または Web で予約

■乗降ポイント配置の考え方

<北部エリア内>

主要乗降ポイント：公共施設（自治会館等）、病院、スーパー等

一般乗降ポイント：地域内の道路、ごみ集積場等

※乗降ポイントは、公共施設を除き、バス停から 300m 以内に設定しない

<北部エリア外>

乗降ポイント：鉄道駅や主要バス停留所、八千代医療センター等

■実証運行期間　実証運行開始から 1 年半から 2 年程度

■運行台数　3 台

■実証運行目標　1 日 6 人/台

令和7年度第2回北部エリア補完的交通検討分科会議事録

会議名 令和7年度第2回北部エリア補完的交通検討分科会

日 時 令和7年9月22日（月） 午後2時00分から午後2時55分まで

会 場 八千代市役所 別館2階第1・第2会議室

議 題 デマンド交通の運行方針（案）について

出席者 【委 員】
　　鎮目委員（会長），小川委員，太田委員，毎熊委員，御厨委員，岡本委員，鎌田委員，櫻井氏（丸山委員代理），藤井委員，蜂谷委員
【事務局】
　　（都市整備部）瀬能尾次長
　　（都市計画課）平野課長，多田主査，石原主査補，木暮主事

公開・非公開 公開

傍聴者 1名

議 事 以下のとおり

—議題の説明—

事務局

<前回会議の内容、本日の目的>

7月4日に開催した第1回分科会では、「補完的移動手段の手法はデマンド交通として、地域との意見交換を進めることとし、地域にあった具体的な運行方針案について検討をしていく」として、賛成者全員にて可決した。

本日は、前回会議の開催後に地域の詳細ニーズ調査を行い、その結果を踏まえて、デマンド交通の実証運行方針（案）を作成したことから、その内容を説明し、委員の皆様に協議いただきたい。

<地域の詳細ニーズ調査>

デマンド交通の実証運行方針（案）の検討にあたって、「地域の代表者との意見交換の実施」「ニーズ調査票の郵送」の2つの方法で地域のニーズを確認した。

■地域の代表者との意見交換

8月上旬から9月上旬にかけて、米本団地自治会、阿蘇北部支会、睦支会で、自治会長や社会福祉協議会の福祉委員・民生委員などの方を対象に意見交換を実施した。

当日は、北部エリアに導入を計画しているデマンド交通の説明、その運行内容を説明ののち、意見交換や質疑応答を実施し、ニーズ調査票の記入と乗降ポイントマップを作成した。

意見交換でいただいた主なご意見としては、

- ・乗降ポイントは家の前にあるとよい（米本団地自治会）
- ・デマンド交通はもえぎ野線が運行していない時間帯で必要（阿蘇北部支会）
- ・高齢者の中には、数百m先の乗降ポイントまで歩いていくのが困難な方もいるので、きめ細かな乗降ポイントを設定してほしい（睦支会）

といった内容が挙がった。

続いて、調査票の集計結果とそれに対する所見としては、

日常での移動のしやすさについて、外出時（買い物・通院等）の交通手段がなく困っている割合は約5割であった。また、阿蘇北部では、交通手段がなく困る場合に外出をあきらめてしまう人が約3割であった。

この結果からの所見としては、路線バスは走っているものの、バス停までの距離が遠い、便数が限られているなどの理由により、利用できていない方が潜在的に存在することを改めて認識した。

続いてデマンド交通について、午前中の利用希望が約5割あるほか、阿蘇北部は午後の早い時間での要望もあった。阿蘇北部の要望については、もえぎ野線が運行していない時間帯と重なっているため、代替移動手段としてのニーズがあると考えられる。また、利用したい頻度は、睦と阿蘇北部では月に2～3日を選んだ方が最も多く、米本団地では週1～2日を選んだ方が最も多いという結果となった。米本団地では一部路線においてバスの便数が限られていることから、こちらも代替移動手段としてのニーズがあり、利用頻度が高くなっているのではないかと考えている。また、エリア外の乗降ポイントについて、要望の多かつた箇所は、睦では八千代中央駅、米本団地では、市役所や福祉センター、阿蘇北部では勝田台駅という結果となり、地区によって目的地が異なっていた。

■ニーズ調査票の郵送

八千代市内の北部エリアにお住まいの15歳以上（中学生を除く）の方の中から無作為に抽出した2,000人に対し調査票を郵送し、8月28日から9月10日までを調査期間とした。

回答方法としては、郵送またはインターネットによる回答とした。

郵送によるニーズ調査の実施結果について、送付件数は、実施内容で説明した通り2,000件となっており、回答件数は501件、そのうち郵送回答が347件、インターネット回答が154件であった。

利用したい時間帯については、地域の代表者との意見交換時と同様に、午前中の利用希望が多く、13時～14時の利用希望も多い結果となった。

続いて、利用したい曜日は金曜日から日曜日までの利用希望が多く、逆に平日の水曜日と木曜日の利用希望が少ない結果となった。

また、利用したい頻度については週1～2日、月2～3日の頻度での利用希望

が多い結果となった。

最後に北部エリア外の乗降ポイントは、八千代中央駅が一番多く、次点で村上駅、八千代医療センターと続く結果となった。

<デマンド交通の実証運行方針（案）>

デマンド交通の運行目的は、鉄道駅から離れておりバスの運行本数も少ない北部エリアにおいて、自宅から最寄りの駅やバス停等までの道のりの、いわゆるファースト・ラストワンマイル対策として運行するものであり、その目的に沿って、また、ニーズ調査結果を踏まえて実証運行方針案を作成した。

①運賃は、公共交通機関を利用した際の金額より高く、タクシーを利用した際の金額より低くという前提のもと設定しており、目的地により異なるが、約500円～1,000円程度を目安としている。

②利用対象者は、八千代市の北部にお住まいの方を対象としている。

③運行時間については、毎日、午前7時から午後5時の運行を予定している。

④利用方法については、郵送等により利用者登録の申請をいただいた後に、電話またはWebで予約いただく形を想定している。

⑤乗降ポイント配置の考え方については、北部エリア内においては、目的地となる主要乗降ポイントと自宅付近の乗り合い場所となる一般乗降ポイントを設置している。主要乗降ポイントとしては、自治会館などの公共施設や病院、スーパー等を想定しており、一般乗降ポイントとしては、ごみ集積場等を想定している。

なお、北部エリア内の乗降ポイントは、バス停と近い位置に設定しないこととする。具体的には、公共施設を除き、バス停から300m以内には乗降ポイントを設定しないことになる。

北部エリア外の主要乗降ポイントについては、鉄道駅や主要バス停留所、八千代医療センター等を想定している。

⑥乗降ポイント別の移動イメージとして、3つの事例を紹介

⑦実証運行期間は、実証運行開始から1年半から2年程度とする。

⑧運行台数は3台、1台あたりの乗車人数は3人を想定している。

⑨実証運行目標は、1日1台あたり6人としている。

—委員意見等—

小川委員

運行日について、年末年始と土日はやめるという話か。

事務局（小川委員回答）

毎日運行なので、土曜日・日曜日・祝日を含む毎日運行となる。

岡本委員

3点確認したい。1点目、資料の8ページに「乗降ポイントはバス停から300m以内に設定しない」と記載あるが、地域との意見交換では歩くのが困難だというような人たちがいる中で、バスの利用を前提とするようなデマンド交通のルートに設定するのであれば、この制限を入れるっていう理由がわかりづらいと思う。否定的な意味ではなく、バスに乗れる人はバスに乗ることが最善だと思うが、この理由になると、ヒアリング結果と若干違うのではないかというふうに感じた。9~10ページの例では、目的地が公共交通機関で行けない、つまりデマンド交通でしか行けない場所となっている。バス停が近くにあるのであれば、バスで目的地に行くので、今回の比較対象にはならないが、今回運行しようとしているデマンド交通はバスでは行けない目的地を想定として、シミュレーションされているので、乗降ポイントの設定をここで変える（300m以内に乗降ポイントを設定しないようにする）と、矛盾するのではないかと考える。

2点目、11ページの運賃のところで、デマンド交通は約1,000円程度、バス・鉄道560円、タクシー3,400円との説明があった。なるべく公共交通を使って欲しいとの考えであれば、運賃だけではなく、それぞれの所要時間の想定を置かない、利用者としては、デマンドを含めたどの手段を使って目的地に行くべきかの判断ができないと感じる。例えば、バスと電車を乗り継いだら1時間半、デマンド交通を使うと30分で行ける、となるような所要時間の想定があれば、デマンドを使うのもありだが、デマンドでも公共交通を乗り継いでも、一般的に大差がない時間帯であれば560円で済むので公共交通を使おうよ、という説明ができると思う。そのあたりは資料で補足いただくほうが、よりわかりやすいと思う。

最後に、ニーズ関連資料の中の調査票で、利用者側が求めている集計結果は、どのような目的かが鍵だったと思うが、この分科会で出された資料の結果には、目的の分析は書かれていない。何のために利用するのかが書いていないので、実際にデマンド交通を実証運行したときに、利用した理由のイメージがつきにくいと思う。仮に運行台数で3台も用意して、先ほどの小川委員からの年末年始の運行についての質問もそうだと思うが、目的によっては、年末年始は運行が不要となる可能性もある。そのような観点から、ここでの外出目的は何だったのかを示していただく方が的確かなと思う。

より最適なデマンド交通、最適な公共交通機関の利用を目的にしており、想定と結果が一致するほうがいいと思うので、そこを補足いただければと思う。

睦支会の意見交換では、利用したい人の中に歩けない人が多く、歩けない人は運行距離や乗降場所を柔軟に決められるデマンド交通を、歩ける人は公共交通機関を使っていただくのが、この地域における全体最適であると思っている。

事務局（岡本委員回答）

1つ目の質問については、岡本委員ご指摘のとおり、既存の公共交通機関の維持も同時に考えていく必要があると考えている。乗降ポイントとしての公共施設は、大学町で言えば大学町自治会館のような施設を前提としているが、そちらについては今後、路線バス事業者とも協議を進めていきたい。今回は実証運行方針（案）として、この内容で進めていきたいと考えている。

続いて2点目の所要時間に関しては、運賃を今後決定していくにあたって、ご意見も参考にさせていただきたい。

3点目について、今回のニーズ調査の結果については、全項目別の集計結果というものをお示ししておらず、先ほどの点については、申し訳ないが了承いただきたい。今お話のあった目的に関しては、実証運行を行うにあたって、目的にかかわらず、どういった方が、どこに行くかとか、どれぐらいの時間が必要なのかという総数を確認したいという思いがあり、目的は省いて資料を作成した。

岡本委員

1番目の話、前提はわかるが、地域のヒアリングでも話のあった足の不自由な方が、仮にバス停に近い場所に住んでいた場合は、利用したくても乗降ポイントの対象から除外されており利用できない、という点が引っ掛かっている。足の不自由な方や公共交通に乗れない方も利用対象としているのであれば、あえて300mの話を書く必要はないのではないか。自治会館などを想定している、というであれば、あえてここを書き出す必要がないのではないか。既存の公共交通機関の維持したい考えは理解できるが、その対策として300m以内にバス停を設置しない整理にするのであれば、最初から足の不自由な方や公共交通に乗れない方を利用の対象から外してしまうのではないか。それ以外の点は、承知した。

鎮目会長

今後作成する資料は持ち帰り検討するということでよいか。具体的には、8ページの「※乗降ポイントは、公共施設を除き、バス停から300m以内に設定しない」と言い切っている部分をどう表現するかということかと思う。

事務局

いま会長から話のあったとおり、今後資料の発出の際には再検討する。

藤井委員

アンケートのところで、移動手段は何かの目的があって初めて移動という行為が出てくるので、リンクしてないと本来はいけない。ご指摘のように、特に年齢別にも分かれてない、日頃困っている199人という方のアンケートの特出しどうっている。困っている方のほとんどが高齢者だと思うが、例えば、土日の塾

に行く際に手段がない人たちもいることもあり、目的と移動をかませた形での需要を想定しないといけないと思う。この北部エリアの調査結果と他自治体のデマンドとの比較では、利用したい曜日の回答が他の自治体と比べて全然違うと感じる。通院目的が第一、その次に買い物目的、これらがデマンド交通における需要で千葉県内のほとんどの自治体の利用目的となっている。他自治体では平日利用に集中して、土日カットという形態が非常に多い中、八千代市の場合は、土日特出しのような形の利用想定となっており、一体どういう目的なのかが余計気になるところである。そういった面では、どういうトリップが発生するのか、さらにその方たちの目的と行き先がどのように絡んでくるか。八千代市では今回デマンドを3台で運用することで、それを乗り合わせていくときの方向性を兼ね合わせる際に、今度はトリップとODの関係性で、1台にどれくらいの人たちが1日利用できるような形で、北部と他地域を繋いでいかれるのか、こういったものを想定しているときにも、それも必要となる。その辺は、実証実験の中でどういうふうに積み上げていくかということをお考えになっているのだろうとは思うが、事前情報の中で、どういったところをつなぐ形の声が大きいのか、最低限それは地図上で、トリップだけで線を結んでいって、そのトリップ図で示しても、この方向性が北部地域でも、東側と西側では、どうやらちょっと行き先の行程が違うよねと。そうすると、配車するタクシー事業者も、こういったところに1台の配置あるいは2台運用を考えなくてはいけないとか、いろんなことを想定で準備する形で運用できていくので、そういった情報は開示する形の中で、ご検討いただく、これがまず大事かなというふうに思う。

また、冒頭に出てきて検討事項にもなったが、バス停の300m、これを含めるのか含めないのか、これは、自治体によってさまざまな考え方がある。バス停のところで、お困り事をしている方たちもいるといったところで、全域対応といった自治体も最近増えてきている。その場合には、その運賃格差といったところで選択できるところで、移動のトリップが同じ目的であっても、1人当たりの負担額が違うことによって、選択する方向が違う、そこに任せるといった形で置いている自治体さんもあれば、目的地が先ほど言った後のトリップでつないだときに、全く同じ方向へ向いてしまっているということであれば、これは完全にバス事業者の移動そのものを食っているので、これはやはり改善が必要だという話で限定するところもあると。そういったことも知る上でも、今回300mで設定したとしたときに、その300mの中で利用できない人たちが実際どれくらいいるか、調査はきちんとしなければいけない。そういった形で、きちんとそのフォローアップできる仕組みを、実証実験中に考えないといけないかなというふうに思う。

また、ある自治体では、デマンドを使ってバスに繋げてあげると、そのバスを利用する度に、デマンドとバスの利用券、こういった乗り換えの際に一律運賃型を設定しているところがある。すなわち、例えば500円でデマンドを使うところを、バスを使うことによって、その割引型に変えていく、そういう自治体もあ

る。ただし、その安全に止まれる場所の確保はなかなか難しいので、そういう限定型のアプローチをする考え方もある。それから、一番気になるのは運賃だが、例えば今回3事例示していただいているが、500円・1000円など、行き先・トリップにより変えるという話だが、北部エリアから圏外、あるいは北部エリアの中でも、東西の中でゾーンとしてやるのか、何かそういうものを考えているかどうか。そういういかないと、そちらは個別の事例でいくので、運転士さんがA地点でピックアップして、B地点でまたピックアップして同じ目的地に向かう、そうすると、それぞれの運賃が違ってくる場合もある、同じ場合もあるといったところで、こういったときの運賃対応が非常に煩雑になってしまって、それをゾーン分割型でいくのかどうか、といったところの運用に関しては是非丁寧に検討していただきたい。運用性のわかりやすさはもちろん大事だが、運行事業者が戸惑わないことが安全運行を確保する上で非常に大事になってくるので、その辺をぜひ丁寧に汲んでいただければと思う。

事務局（藤井委員回答）

まず公共交通計画の中で、交通不便地域という形で定義をしている。こちらは駅から800メートル、バス停から300メートルの距離に、そこから外れた方は不便地域という形で定義しており、今回このポイントとして、バス停から300メートルの圏内にポイントを置かないというところに関しては、あくまでも北部エリアに関しても、既存のバス事業者に運行いただいている路線があるため、そちらと競合しないような形で、できるだけその300メートル圏内の方には、バスをご利用いただくような方向で、一応設定させていただいているという前提がある。ただ、足の不便な方でなかなか距離を歩くのも辛いという方もいる中で、運行に関しては月曜日から日曜日までフルに走らせて、台数も3台走らせるということで、手厚い形でのスタートにはなるが、あくまでも実証運行ということなので、今の形ですっとこのまま続けるというよりは、都度、行き先がどうであったかとか、といったデータを基に分析した中で、運行の仕方を地域のニーズに合わせた形で考えていきたい。これで決まりではないということと、まずはこのような前提で始めたいという意味での、今回の方針となっている。

藤井委員

1年半から2年間の実証実験のうちに本格運行に移るとの話の中で、1日何人という目標を掲げて進めることは、とてもいいことだと思う。例えば病院に行く際に、行きでデマンド、帰りは公共交通を使ってという話もあるが、今回バスのネットワークを利用できない方たちにデマンド交通を活用してもらうということは、行きも帰りも全部使ってもらわないと成り立たなくなる。というのは、1週間丸ごと運用する借り上げの方式だと、通常1台あたり1,000万円は簡単に超えてしまう。今回3台なので3,000万円を超える、そして運用するシステム

を入れると、もう4,000万を超えていくような、そういう仕組みできっと動くはずである。それを1日6人で換算したときに、どのくらいの方達が乗るのかを考えると気の遠い話になる。地域にまだ利用想定がない中でオンデマンドとして3台も一気に予約を確保するという、手厚い対応をして地域の中に入り込むのは通常ではまず考えられない。

そういう面では、そういうものを地域の方たちが本当に活用するという機運を上げていかない限り、これは3台が2台、極端な場合1台になってしまう。そういう次元の取り組みであるということで、公共交通を維持して活用していくのも、利用者を想定する形の中で、利用者がそれを活用していく仕組みとして根付かない限り、地域の中で持続していかない。

地域に責任があるということではないが、あなたたちに使っていただくことによって、地域の方たちの移動がどんどん活用されていくと考えている。そういう面では、予約の仕組みなんかもわかりやすく、かつ、行きと帰りでどんどん活用できる、朝7時から使えるサービスというのも、なかなか見当たらない。

そういう面では、広報の仕方や、使ってもらえる人達、知っていたら努力、これをやはり丁寧にしていただくということと、町会の方からも、どんどんデマンド使おうじゃないか、そういうところを挙げていただきたい。それともう1つ、これも別の自治体で起きたことだが、セダン型をやっていて、例えばコミュニティの中で、例えばここで言うと米本団地みたいな団地が形成されているところだと、名前はわからないけれども顔はどこかですれ違っているか知っているよ、みたいな人が乗り合うのはそれほど抵抗がないけれど、全く違う場所に行って知らない人と乗るのがセダン型だと思うと、自分が降りるタイミングが取れないから、利用しなくていいやということで、全部それが乗り合いになったときに、全部、キャンセルして、1人ずつ乗るような形のところに変えてしまうなんていう、本来乗り合いの運用をすべきデマンドが、乗り合いにならないっていうところも出てきている。そういう面では、デマンドは地域の方たちが、皆さんいろいろな方が乗り合っていく仕組みであるということを丁寧に開示していくことが大切である。

そういう面ではこれからアプローチの中ですっと課題があると思うが、ぜひ丁寧に進めていただきたい。

事務局（藤井委員回答）

北部地域のエリアの方々にとって、デマンド交通は初めての手法で、皆さんもどういったものかっていうのはご利用してみると多分わからないと思う。ご意見いただいたように、運行の方向性が決まった段階で、地域の方々や分科会の皆様にご協力いただきながら、使い方や利用の仕方、あとは利用するこういった部分で便利であるというところを丁寧に説明させていただきながら、最初は3台ということなので、より多くの方々にご利用いただきたいと考えている。そ

れである程度、使い方だとかその利便性っていうのをご理解いただいた上で、地域に根付いた交通に育っていったらいいのかなと思う。

目標の設定についても、今は実績がないため、あくまでも想定ということで、1台当たり1日6人という形で設定しているが、今後実績が出た中で、例えば利用人数や、運行に関わる経費に対しての1人当たりのコストの考え方など、いろいろな目標の設定というものがあるので、その辺は実証の中で、そういう設定も踏まえて考えていきたい。

御厨委員

運行にあたっては、タクシー会社が参加するような形になると思うが、クラウンの車を使って運行するとなると、隣同士のことも気になるし、高齢者の方にとっては、ものすごく乗りにくいと思う。我々も、高齢者の方からスライド式のドアの車を回してくれないかとの声をいただくこともある。デマンド交通の運行にあたって、事業者ともう少し親密に話した上で会議の中に提案するのがよいのではないか。

毎熊委員

3台全て貸し切りのような形になった際に、需要がなくそのまま使わなかつた、となるとその分無駄となり、もったいない部分は確かにがあるので、全てを貸し切りにするというよりは、時間貸しなど需要がある時間帯だけ運行する形の方が現実味があるかもしれない。やはり利用目的がわかりづらい部分があるため、その辺はもう少し精査するべきではないか。

櫻井委員

病院に行く方の利用も多いと思うが、帰りに公共交通機関を使うことになると、利用する方にとって非常に不便に感じると思ったので、再検討いただければと思う。あと、阿蘇の説明会に出た際に、名称がカタカナのデマンドタクシーという単語がわかりづらいという話が出た。運行の際には、デマンド交通（乗合タクシー）と表示いただいたほうがわかりやすいと思う。特に阿蘇地域は高齢者が多いので、デマンドってそもそも何でその先話が進まなくなってしまう状況があったので。実際には乗合タクシーを進めたいという説明をしていただけたと、もっとわかりやすいくていう声もあった。

事務局（櫻井委員回答）

病院の帰りは、必ずしも公共交通機関を使ってほしいという話ではなく、予約に空きがあれば使うことは可能。名称については、どなたでもわかりやすい名称を検討する。そのほか、愛称の募集も併せて検討する。

岡本委員

名称の件だが、テストの段階は予約型乗合タクシーにして、さらに乗っていたら、認知を上げていく段階で愛称募集を行う方が、市民の皆さんのが発信を続けて、利用してもらえるのではないか。

名称のところで、いま時間をかけて頭を悩ますよりも、先ほど藤井先生におっしゃっていただいた骨格のところに力点を上げて、最終的には住民の方と一緒に盛り上げていく、という流れが良いのではないか。

事務局（岡本委員回答）

住民の方々に制度が定着するような形で進めていき、今後親しみが持てる愛称・ニックネームを設定できるようにしたいと考えている。

—採決結果—

事務局の説明のとおり、デマンド交通の運行方針（案）について可決。

—次回会議—

事務局

デマンド交通の実証運行の目途が立った段階での開催を予定しているが、日程については改めて案内する。また、委員の皆様には、実証運行に向けた事前調整や周知などで、色々とご協力をいただく場面もあるかと思う。引き続きよろしくお願ひいたしたい。

令和7年度 第2回 北部エリア補完的交通検討分科会

日時：令和7年9月22日（月） 午後2時から

場所：八千代市役所 別館2階第1・第2会議室



1 前回会議の内容 (令和7年7月4日開催 第1回北部エリア補完的交通検討分科会)

「補完的移動手段の手法はデマンド交通として、地域との意見交換を進めることとし、地域にあった具体的な運行方針案について検討をしていく」



2 本日の目的

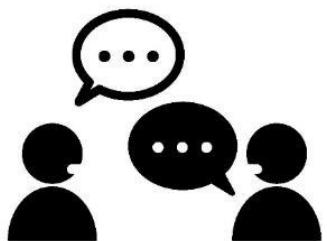
地域の詳細ニーズ調査の結果を踏まえた、実証運行方針（案）について協議します



3 地域の詳細ニーズ調査

運行方針（案）の検討にあたって、以下の方法で地域のニーズを把握しました

① 地域の代表者との 意見交換の実施



地域の実情に精通されている地域の
代表者と意見交換を実施し、ニーズ
を把握しました

② ニーズ調査票の郵送

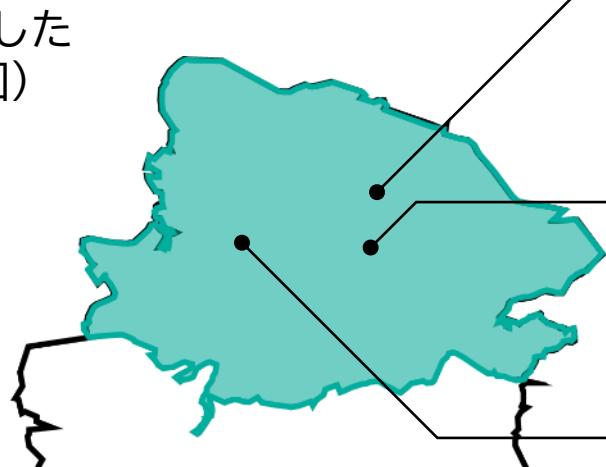


北部エリアにお住まいの2,000人に
調査票を郵送し、ニーズを把握しま
した

3 地域の詳細ニーズ調査

1 地域の代表者との 意見交換の実施

地域の代表者や住民に対して意見交換を実施しました
(米本団地自治会, 阿蘇北部支会, 瞳支会で計3回)



米本団地自治会
場所：米本団地集会所
日時：8月3日
人数：29名
(自治会長, 米寿会員, 自治会員等)

阿蘇北部支会
場所：米公会堂
日時：8月4日
人数：10名
(福祉委員等)

瞳支会
場所：瞳公民館
日時：9月6日
人数：19名
(自治会長・区長, 福祉委員, 民生委員等)

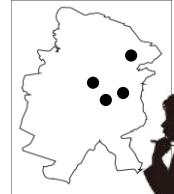
当日の実施内容



資料を使い説明



意見交換, 質疑応答



ニーズ調査票の記入
乗降ポイントマップの作成

3 地域の詳細ニーズ調査

意見交換でいただいた主なご意見

■デマンド交通に関する主なご意見

- ・乗降ポイントは家の前にあるとよい【米本団地】
- ・デマンド交通はもえぎ野線が運行していない時間帯で必要【阿蘇北部】
- ・高齢者の中には、数百m先の乗降ポイントまで歩いていくのが困難な方もいる。きめ細かな乗降ポイントを設定してほしい【睦】

調査票の集計結果と所見

■日常での移動のしやすさについて

- ・外出時の交通手段がなく困っている、困ることがある、その他の割合は約5割であった
阿蘇北部では、交通手段がなく困る場合に外出をあきらめてしまう割合は約3割であった
→路線バスは走っているものの、バス停までの距離が遠い、便数が限られているなどの理由により、利用できていない方が潜在的に存在すると考えられる

■デマンド交通について

- ・利用したい時間は、午前中の利用希望が約5割であった
阿蘇北部では午後の早い時間（13時～14時）での利用希望も多かった
→阿蘇北部ではもえぎ野線が運行していない時間帯と重なっている
- ・利用したい頻度は、週1～2日の利用希望が約3割、月2～3日の利用希望が約4割であった
米本団地では週1～2日を選んだ方が最も多く、阿蘇北部と睦では月2～3日を選んだ方が最も多かった
→米本団地では一部路線でバスの便数が限られており、代替移動手段としてニーズがあると考えられる
- ・エリア外の乗降ポイントで利用希望の多い目的地は次のとおりであった
【米本団地】市役所・福祉センター 【阿蘇北部】勝田台駅 【睦】八千代中央駅
→地域により目的地は異なる

3 地域の詳細ニーズ調査

2 ニーズ調査票の郵送

実施概要

対象者 : 八千代市内の北部エリアにお住まいの15歳以上（中学生を除く）の方の中から無作為に抽出した2,000人

調査期間：令和7年8月28日（木）～令和7年9月10日（水）

回答方法：郵送またはインターネットによる回答

～ニーズ調査票及び説明資料（イメージ図）～

2 在庫アリで購入して販売している商品についてお聞かせ下さい。

(1) 品番と名前(例: 100円玉のカッキー)、販売価格(例: 100円)

- 98-10-05 □ 10-11-11時 □ 11-12-11時
- (2) 10-12-10時 □ 11-12-14時 □ 12-1-11時
- (3) 12-1-10時 □ 1-2-14時 □ 2-3-11時

(2) 価格帯(例: 100円未満)、販売枚数(例: 100枚)

- 口 口 口 □ 木 口 □ 土 口 口

(3) 札幌市立小学校(例: 札幌市立さくら幼稚園)で販売

- 東・西・北・南 □ 東・西・北・南 □ 東・西・北・南

(4) 札幌市立小学校(例: 札幌市立さくら幼稚園)で販売

- 東・西・北・南 □ 東・西・北・南 □ 東・西・北・南

(5) 北海道立小学校(例: 札幌市立さくら幼稚園)で販売

- 東・西・北・南 □ 東・西・北・南 □ 東・西・北・南

(6) 北海道立小学校(例: 札幌市立さくら幼稚園)で販売

- 東・西・北・南 □ 東・西・北・南 □ 東・西・北・南

(7) 利用料金(例: 100円)と販売枚数(例: 100枚)を記入してください

- 8千円 □ 8千円 □ 8千円 □ 8千円 □ 8千円
- 8千円 □ 8千円 □ 8千円 □ 8千円 □ 8千円
- 8千円 □ 8千円 □ 8千円 □ 8千円 □ 8千円
- 8千円 □ 8千円 □ 8千円 □ 8千円 □ 8千円
- 8千円 □ 8千円 □ 8千円 □ 8千円 □ 8千円

デマンド交通（予約型乗合タクシー）説明資料

デマンド交通（予約型乗合タクシー）とは…

利用者の予約をもとに1台のタクシー車両に複数の人が乗り合に入る運行方法です。

利用者は電話またはWebで予約します。

オペレーターが予約を受け付けます。

利用者画面での予約です。
今日の12時で乗車予約です。
●●●●●●●●●●●●●●●●
行き先はまだ未登録です。

1 2
4 3

オペレーターは施設の予約情報をまとめ、迎えに行く場所と送る場所を確認して車両を配車します。

車両は運行ルートを検索して、利用者を乗せ下す地点に向かいます。

YACHIYOSHI CITY 駅前

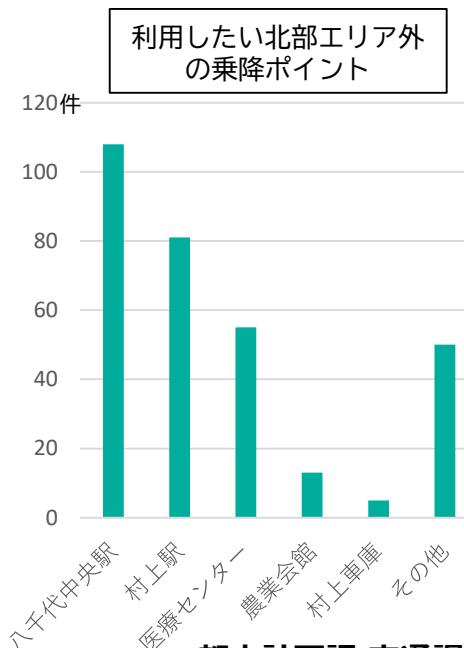
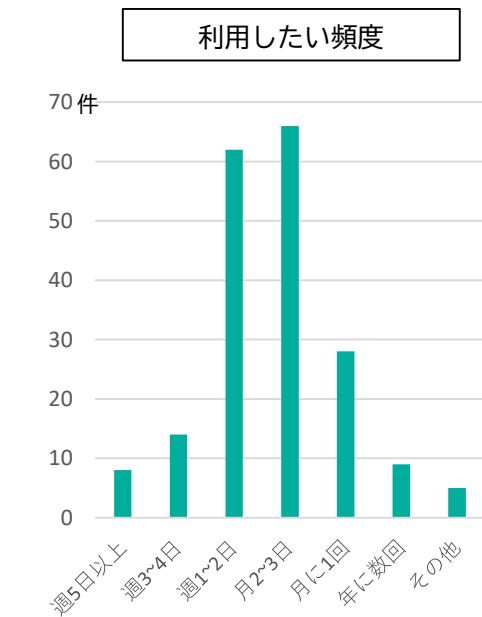
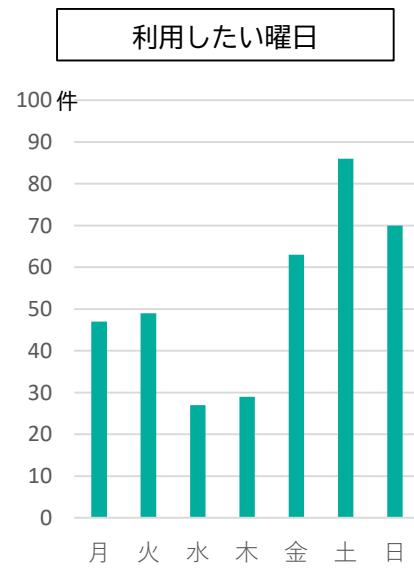
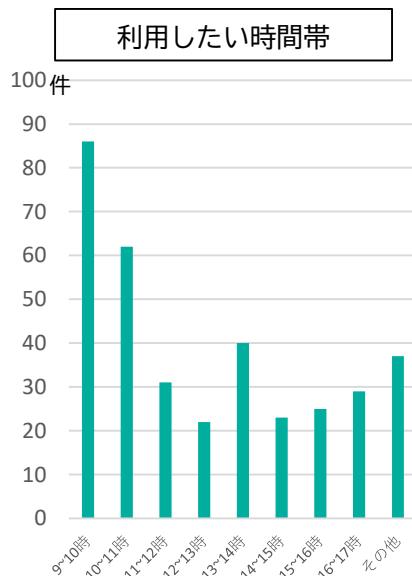


3 地域の詳細ニーズ調査

2 ニーズ調査票の郵送

実施結果

- ✓ 送付件数：2,000件
- ✓ 回答件数：501件 ※郵送回答：347件 インターネット回答：154件
- ✓ 時間帯：9～11時までの利用希望が多く、13～14時の利用希望も多い
- ✓ 曜日：金～日の利用希望が多く、水、木の利用希望が少ない
- ✓ 頻度：週1～2日、月2～3日の頻度での利用希望が多い
- ✓ 下記グラフは問1の設問で困っている、困ることがある、その他を回答した199件の集計結果



4 実証運行方針（案）

**運行目的：自宅から最寄りの駅やバス停等までの道のり
いわゆるファースト・ラストワンマイル対策**

①運賃の目安 目的地によって運賃が異なります
 約500円～約1,000円程度

②利用対象者 八千代市の北部エリアにお住まいの方

③運行時間 毎日 7:00～17:00

④利用方法 利用者登録後、電話またはWebで予約

⑤乗降ポイント配置の考え方

<北部エリア内>

主要乗降ポイント： ● …公共施設（自治会館等）、病院、スーパー等

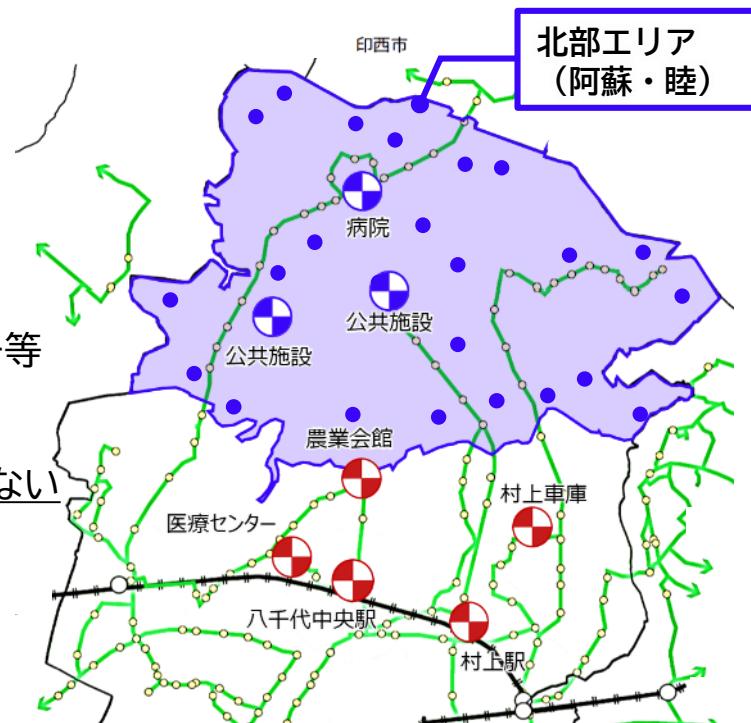
一般乗降ポイント： ● …地域内の道路、ごみ集積場等

※乗降ポイントは、公共施設を除き、バス停から300m以内に設定しない

<北部エリア外>

乗降ポイント： ● …鉄道駅や主要バス停留所、医療センター等

- 北部エリア内の主要乗降ポイント
- 北部エリア内的一般乗降ポイント
- 北部エリア外の乗降ポイント



4 実証運行方針（案）

⑥乗降ポイント別の移動イメージ（例：自宅 ● → 東栄寺 ● → 瞬郵便局 ● → 友人宅 ●）

		目的地		
		北部エリア内		北部エリア外
		●	●	●
出発地	北部エリア内	●	○	○
	北部エリア内	●	○	○
	北部エリア外	●	○	○

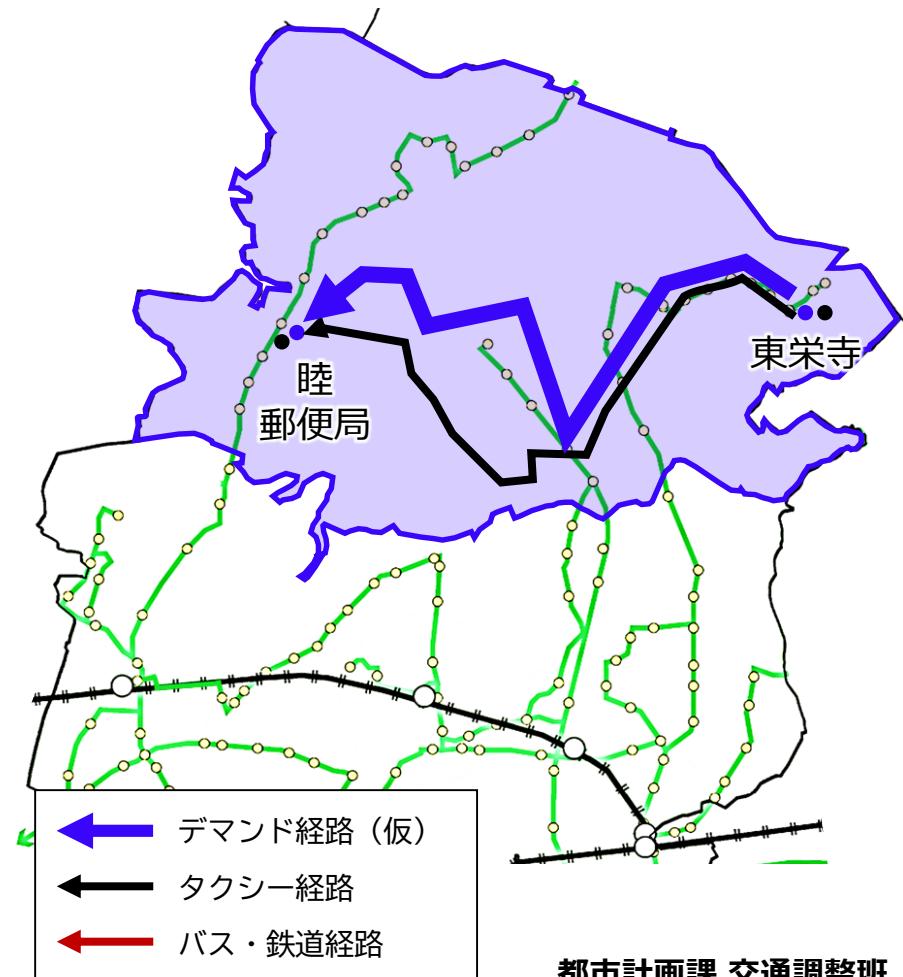
<運賃>

デマンド交通：約500円程度

(参考)

バス・鉄道：無

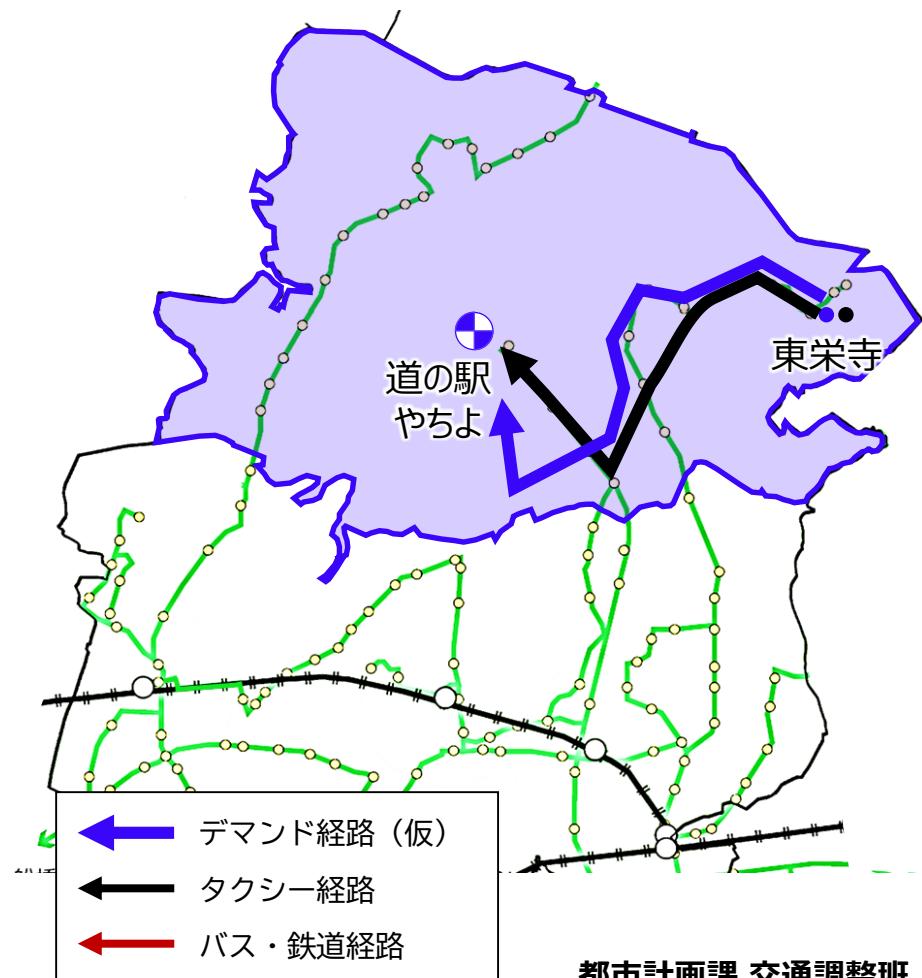
タクシー：約4,100円(7.5km)



4 実証運行方針（案）

⑥乗降ポイント別の移動イメージ（例：自宅 ●→東栄寺 ● →道の駅やちよ ⚪）

			目的地		
			北部エリア内	北部エリア外	
出発地	北部エリア内	●	●	●	
	北部エリア内	●	○	○	○
	北部エリア外	●	○	○	×



<運賃>

デマンド交通：約500円程度

(参考)

バス・鉄道：無

タクシー：約2,800円(4.4km)

4 実証運行方針（案）

⑥乗降ポイント別の移動イメージ（例：自宅 ●→東栄寺 ● →八千代中央駅 ○）

			目的地		
			北部エリア内	北部エリア外	
出発地	北部エリア内	●	○	○	○
	北部エリア内	○	○	○	○
	北部エリア外	○	○	○	×

<運賃>

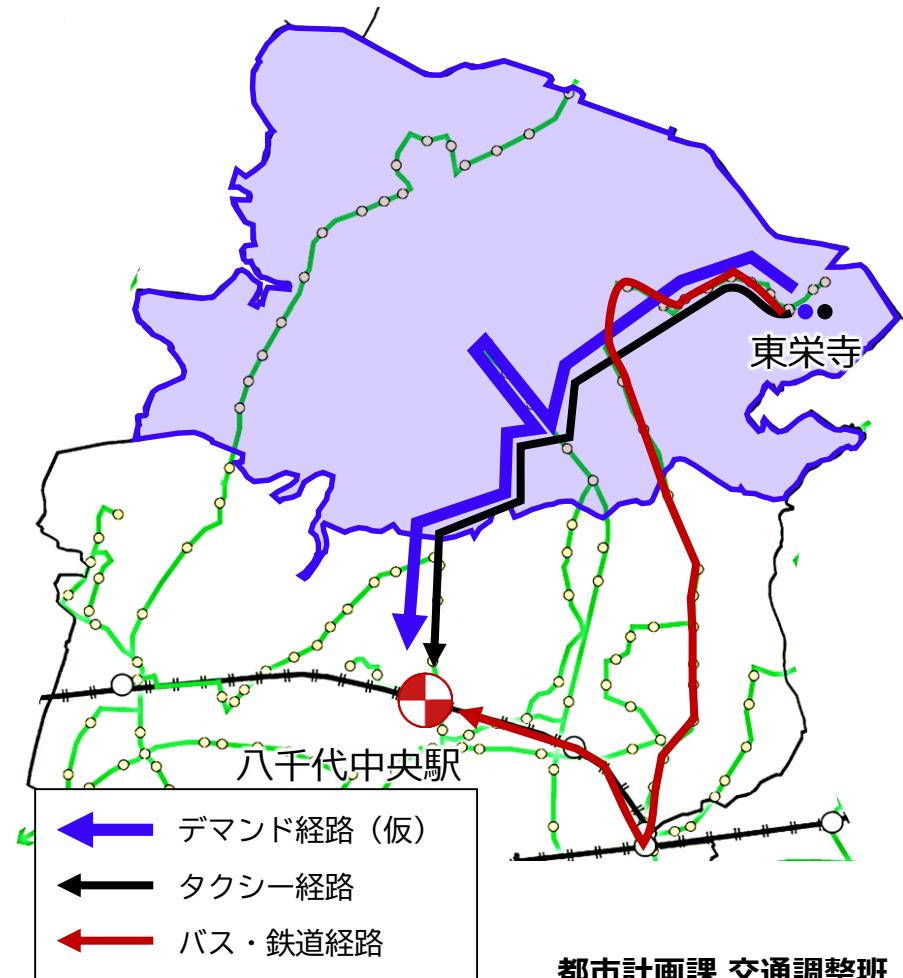
デマンド交通：約1,000円程度

(参考)

バス・鉄道：560円

※もえぎ野車庫→勝田台駅：350円、東葉勝田台駅→八千代中央駅：210円

タクシー：約3,400円(5.9km)



4 実証運行方針（案）

⑦実証運行期間 実証運行開始から1年半から2年程度

⑧運行台数 3台

⑨実証運行目標 1日6人/台



デマンド交通（予約型乗合タクシー）の運行内容(案)

※地域のニーズを把握した後に運行内容を決めるため、下記は現時点の運行内容（案）となります

●運賃の目安　目的地によって運賃が異なります

約500円～約1,000円程度

●運行時間　9:00～17:00

●利用方法　市役所に利用者登録申請後

電話またはWebで予約し利用

●利用区间　・北部エリア内の乗降ポイント間

・北部エリア内の乗降ポイント（右図の○）

⇒エリア外の乗降ポイント（右図の△）

●乗降ポイントの（例）

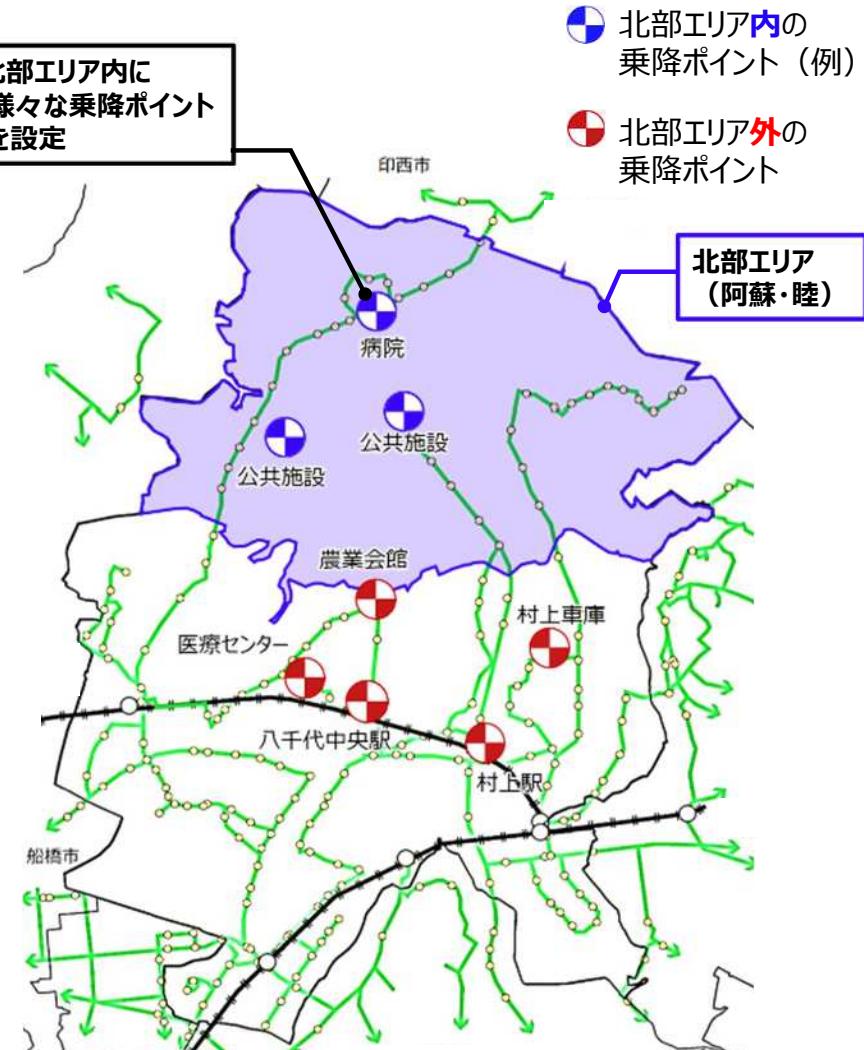
<北部エリア内> 病院、自治会館、コンビニ、集落等に設定

<北部エリア外> 鉄道駅や主要バス停留所、医療センター等に限定

※北部エリア外の乗降ポイント間の乗車は不可。

（例：農業会館と八千代中央駅の間）

※北部エリア内に
様々な乗降ポイント
を設定





デマンド交通(予約型乗合タクシー)とは・・・

利用者の予約をもとに 1 台のタクシー車両に複数の人が乗り合わせる運行方法です

利用者は電話またはWebで予約します。



利用者番号〇〇の服部です。
今日の12時に乗降ポイント
の●●●で乗って▲▲▲まで
行きたいのですが、予約できま
すか

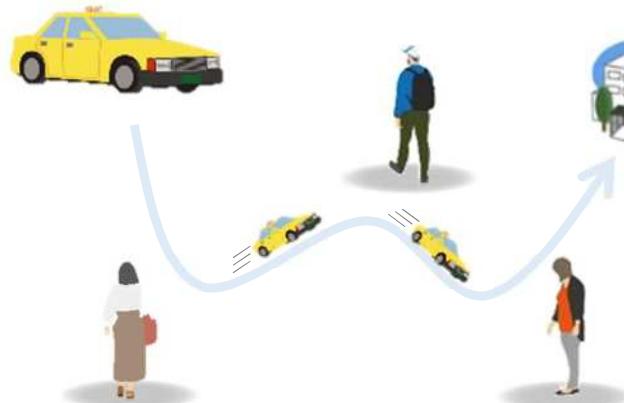
オペレーターが予約を受け付けます。



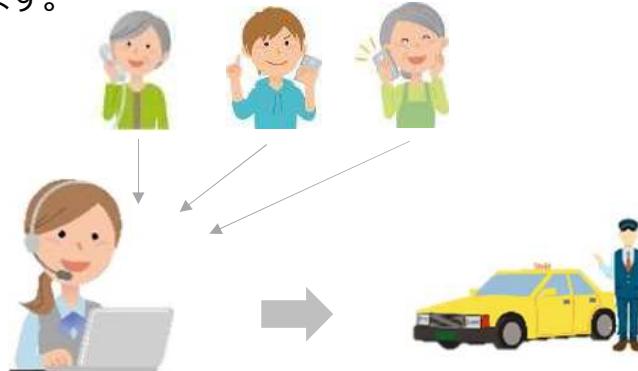
服部様ですね。車両に空きが
ございますので予約を受け付
けいたします。乗降ポイントの
●●●で12時にお待ちください。

1
2
4
3

車両は運行ルートを確認して、利用者を
乗せて目的地まで向かいます。



オペレーターは複数の予約を取りまとめ、迎え
に行く場所と送る場所を確認して車両を配車
します。



デマンド交通（予約型乗合タクシー）に関するニーズ調査票

あらかじめ別添の「デマンド交通（予約型乗合タクシー）説明資料」をご覧になってから回答してください。

1

日常生活での移動のしやすさについてお聞きします。

問1 外出する時に交通手段がなくて困ることがありますか。（1つに☑チェックしてください）

- 自分で自家用車やバイク、自転車を運転できるため、困ることはない ⇒問3へ
- 家族や知人が送迎してくれるため、不便なときはあるが困ることはない ⇒問3へ
- 主にタクシーを利用するが、待ち時間や運賃等で困ることがある ⇒問2へ
- バス停や駅まで歩いていき、バスや鉄道を利用することはできるが、便数、運賃等で困ることがある ⇒問2へ
- 自力での外出が困難であり、困っている ⇒問2へ
- その他（ ） ⇒問2へ

問2 問1で困ることがあるに☑を付けた方にお聞きします。

(1) どのような目的で外出する時に困ることが多いですか。（当てはまるものに☑チェックしてください）

- 通勤・通学 買い物 通院 食事・飲み会
- 公共施設利用 金融機関利用 遊び・趣味・習い事等
- その他（ ）

(2) 交通手段がなくて困る時には、どのようにされますか。（当てはまるものに☑チェックしてください）

- 不便なときもあるが、タクシーを利用する
- 不便だが、路線バスを利用する 家族・友人などに送迎してもらう
- 介護サービスを利用する 徒歩または自転車で移動する
- 外出するのをあきらめる その他（ ）

2 北部エリアに導入を計画している移動手段についてお聞きします。

問3 デマンド交通（予約型乗合タクシー）についてお聞きします。

(1) 利用したいと思う時間帯（2つまで□チェックしてください）

- | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 9時～10時 | <input type="checkbox"/> 10時～11時 | <input type="checkbox"/> 11時～12時 |
| <input type="checkbox"/> 12時～13時 | <input type="checkbox"/> 13時～14時 | <input type="checkbox"/> 14時～15時 |
| <input type="checkbox"/> 15時～16時 | <input type="checkbox"/> 16時～17時 | <input type="checkbox"/> その他（ <input type="text"/> |

(2) 利用したいと思う曜日（2つまで□チェックしてください）

- | | | | | | | |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 月 | <input type="checkbox"/> 火 | <input type="checkbox"/> 水 | <input type="checkbox"/> 木 | <input type="checkbox"/> 金 | <input type="checkbox"/> 土 | <input type="checkbox"/> 日 |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|

(3) 利用したいと思う頻度（1つに□チェックしてください）

- | | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|--|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 週に5日以上 | <input type="checkbox"/> 週に3～4日 | <input type="checkbox"/> 週に1～2日 | <input type="checkbox"/> 月に2～3日 |
| <input type="checkbox"/> 月に1回程度 | <input type="checkbox"/> 年に数回程度 | <input type="checkbox"/> その他（ <input type="text"/> | |

(4) 利用したいと思う用途（当てはまるものに□チェックしてください）

- | | | |
|-------------------------------------|--|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 通勤・通学時の移動 | <input type="checkbox"/> 日常の買い物 | <input type="checkbox"/> 通院時の移動 |
| <input type="checkbox"/> 趣味・習い事時の移動 | <input type="checkbox"/> その他（ <input type="text"/> | |

(5) 北部エリア内の乗降ポイントで、出かける際の乗り合い場所として

あつた方が良いと思うポイント（当てはまるものに□チェックしてください）

- | | | |
|--|-----------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 自治会館・地域の集会所 | <input type="checkbox"/> 商店 | <input type="checkbox"/> ごみ集積場所 |
| <input type="checkbox"/> その他（ <input type="text"/> | | |

(6) 北部エリア内の乗降ポイントで、(4)で回答した用途の目的地として

あつた方が良いと思うポイント（2つまで□チェックしてください）

- | | | | |
|--|---------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 学校 | <input type="checkbox"/> スーパー | <input type="checkbox"/> コンビニエンスストア | <input type="checkbox"/> 病院・クリニック |
| <input type="checkbox"/> 道の駅やちよ | <input type="checkbox"/> 支所・連絡所 | <input type="checkbox"/> 公民館 | <input type="checkbox"/> 自治会館・集会所 |
| <input type="checkbox"/> その他（ <input type="text"/> | | | |

(7) 利用したいと思う北部エリア外の乗降ポイント（2つまで□チェックしてください）

- | | | | |
|---------------------------------|--|------------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 八千代中央駅 | <input type="checkbox"/> 村上駅 | <input type="checkbox"/> 八千代医療センター | <input type="checkbox"/> 農業会館 |
| <input type="checkbox"/> 村上車庫 | <input type="checkbox"/> その他（ <input type="text"/> | | |

お忙しい中、調査にご協力ください誠にありがとうございました。

八千代市地域公共交通計画実施事業進捗管理表（令和6年度実績版）											
No.	事業	事業内容	具体的な事業	具体的な事業内容					R6実施内容	次年度に向けた課題や取組み等	
事業1 広域交通の利便性向上	①鉄道の利便性向上	○鉄道駅バリアフリー・鉄道施設耐震対策等への対応	エレベーター等設置によるバリアフリー対応や鉄道施設の耐震化等を推進する。	R6計画 R7計画 R8計画 R9計画 R10計画					協議、適宜実施	京成電鉄株式会社が実施する勝田台駅南口のエレベーター1基及び下りエスカレーターの設置、上りエスカレーターの更新工事に対し補助金を交付した。	今後も引き続き鉄道事業者と連携しバリアフリー対応や鉄道施設の耐震化等の推進を図る。
111											
112		○鉄道事業者への住民ニーズの共有	鉄道事業に係る住民要望を鉄道事業者と共有する。						協議、適宜実施	新たに寄せられた要望等はなかった。	今後も引き続き継続案件（大和田駅北口改札の段差等）の進捗状況を共有し対応の検討を行う。
②空港アクセス等、新たな事業展開の研究	○東京国際空港（羽田空港）～市内駅の高速道路バス等の事業展開の研究	-	R6計画 R7計画 R8計画 R9計画 R10計画					調査、研究	バス事業者と個別にヒアリングを実施した。	現時点では事業化の見込みは困難な状況であるが、今後も引き続き新たな事業展開に向けた調査、研究を行う。	
			121								
事業2 公共交通の維持	①既存バス路線の維持及び利用促進	○関連事業者との協議の場の設定	関連事業者と市の定期的な協議・情報共有の場を設けることで、緊密な連携を図り、路線の維持につなげていく。	R6計画 R7計画 R8計画 R9計画 R10計画					適宜実施	関連事業者と個別に協議・情報共有の場を設けて連携を図った。	今後も引き続き定期的に協議・情報共有の場を設けて連携を図るとともに、各事業者の課題等を踏まえた路線維持に向けた取組みを検討する。
211											
212		○路線バス車両のバリアフリー化の推進	路線バスの利用促進を図るため、市内で完結するバス路線について、バス車両のバリアフリー化（ノンステップバスの導入）を推進する。						適宜実施	ノンステップバスの導入率向上に向けた取り組みを行った。	今後、ノンステップバスの導入率向上に向けた取り組みを継続する。
②コミュニティバスの利用促進	○認知度の向上に向けた取組	公共施設や鉄道駅などに、コミュニティバスのルート図及び時刻表を掲示する等、認知度の向上を図る。	R6計画 R7計画 R8計画 R9計画 R10計画					検討、適宜実施	コミュニティバスのルート図及び時刻表をバス車内に掲示するとともに市役所及び支所で配布した。	今後は、鉄道駅などの掲示、配布を検討し、認知度の向上に向けた取組みを実施する。	
			221								
	222	○利便性の向上に向けた取組	設置可能箇所についてはベンチ設置を推進する等、バス待ち空間の整備を検討する。						検討、適宜実施	ベンチ設置の可能性がある箇所を把握するため各停留所の歩道幅員等の調査を実施した。	自治会等が道路占用許可を受けて設置されたベンチも多く、今後は劣化状況等を踏まえ整備箇所の選定を行う。
③運転士不足への対応	○運転士の就職説明会への後援・共催	バスやタクシー運転士の合同就職説明会等の求人活動への後援・共催を行っていく。	R6計画 R7計画 R8計画 R9計画 R10計画					適宜実施	市主催によるバス・タクシー合同就職説明会を11月9日に市役所多目的会議室で開催しバス事業者5社・タクシー事業者6社が参加、8名の来場があった。また、千葉県タクシー協会京葉支部主催のタクシー会社合同就職説明会（3回開催）に対し後援を行った。	今後も引き続き運転士不足への解消を図るために求人活動への後援・共催等を実施する。	
			231								
	○協議会への参加と利用促進	花見川区北部地域バス路線三者協議会に参加し、北部循環線の継続的な運行を図り、八千代市ホームページへの掲載など利用促進に向けた周知を行っていく。	R6計画 R7計画 R8計画 R9計画 R10計画					実施	花見川区北部地域バス路線三者協議会に2回オブザーバーとして参加したほか、市ホームページにルート図及び時刻表を掲載し周知を図った。	今後も引き続き花まわる号の利用促進に向けた周知等を実施する。	
事業3 公共交通の利用促進	①ノーマイカーデーの実施等、公共交通の利用促進	①ノーマイカーデーの実施等、公共交通の利用促進	利用者を増加させ公共交通の維持に寄与するとともに、環境負荷の少ない公共交通の利用を促すため、ノーマイカーデーの呼びかけ等を検討する。	R6計画 R7計画 R8計画 R9計画 R10計画					検討、適宜実施	環境担当部署と連携し、市ホームページ及び庁内掲示板等を通じて市民及び市職員に対し、公共交通の利用を促進し、ノーマイカーデーの呼びかけを行った。	今後も引き続き関係部署・関係機関と連携を図り、公共交通の利用促進に向けた周知等を実施する。
311											
②バスの乗り方教室等によるモビリティ・マネジメントの推進	②バスの乗り方教室等によるモビリティ・マネジメントの推進	公共交通利用の大切さを普及する活動として、バスの乗り方教室等を開催し、公共交通を大切にする心を育むとともに、利用する習慣を身につけることを目指す。	R6計画 R7計画 R8計画 R9計画 R10計画					検討、適宜実施	9月28日に開催された東葉高速鉄道車両基地まつりにおいて、東洋バス株式会社・一般社団法人バス共通ICカード協会の出展により小学生を対象にバスの乗り方教室を開催。	今後も引き続き関係事業者と連携し、モビリティ・マネジメントの推進を図る。	
			321								
事業4 主要な交通結節点の機能整備	①上屋やベンチの設置等、主要な交通結節点における待合空間の整備	○勝田台駅南口駅前広場の再整備	利便性向上を目的とした駅前広場の再整備を行う。	R6計画 R7計画 R8計画 R9計画 R10計画					工事	令和2年度に詳細設計は完了していたが、令和4年度に駅舎のエレベーター設置位置が変更となったことで一部設計の見直しが必要となり、修正設計を実施した。	令和7年度より東側歩道部の整備工事に着手し、以降順次整備を実施する。
411											
②地域拠点（八千代カルチャータウン地区）における機能整備	○駅前広場の上屋、ベンチ設置可能箇所への設置促進	歩道の幅員やその他現地の状況を確認し、上屋、ベンチを設置可能な箇所については、設置を促進していく。	R6計画 R7計画 R8計画 R9計画 R10計画					検討、適宜実施	上屋、ベンチの設置の可能性がある箇所を把握するため駅前広場の状況調査を実施した。	今後は、デジタルサイネージ等の情報提供設備の整備検討と合わせて待合空間整備の検討を行う。また、市民に寄付をいただいたベンチ1基を勝田台駅北口に設置した。	
			421						適宜実施	物価高騰に伴い地域拠点の開発が遅れていることから、路線バス事業者等との協議は実施に至っていない。	今後は、地域拠点開発の進捗状況に応じて協議の場の設定について検討を行う。
事業5 地域輸送資源の活用法の検討	①民間送迎バス等、地域輸送資源の活用可能性の検討	○地域輸送資源の活用可能性の検討	施設への送迎バスを運行している事業者へのヒアリングを行う。	R6計画 R7計画 R8計画 R9計画 R10計画					調査、検討	商業施設や病院等の送迎バスを運行する事業者のホームページ等により運行状況等の情報収集を行った。	今後は、送迎バスを運行している事業者に対し調査を実施し活用可能性のある事業者を把握していく。
511											

八千代市地域公共交通計画実施事業進捗管理表（令和6年度実績版）											
No.	事業	事業内容	具体的な事業	具体的な事業内容					R6実施内容	次年度に向けた課題や取組み等	
611	事業6 福祉分野との連携	①移動支援事業の継続及びサービスの見直しの検討	本市では、高齢者や障害者の方の外出支援を目的とした移動支援事業として、タクシー助成事業を行っている。高齢化の進行等による移動困難者の増加に対応するため、タクシー料金の一部助成を継続し、公共交通と福祉サービスの連携を図りながら、サービスの見直しを検討する。	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画	R10計画	高齢者等外出支援事業について、令和7年度交付分からの対象地域の拡充や対象者の見直しを実施した。 今後も引き続き制度に対する要望や北部エリアの補完的交通検討の進捗状況を踏まえ見直しを検討する。	今後も引き続き制度に対する要望や北部エリアの補完的交通検討の進捗状況を踏まえ見直しを検討する。	
					検討、適宜実施						
621	事業7 新たなモビリティサービスの調査・研究	②高齢者運転免許証自主返納支援事業の継続	運転免許証の自主返納者に対してタクシー券を交付しており、引き続き事業を継続していく。	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画	R10計画	運転免許証の自主返納者に対してタクシー券を交付し、令和6年度は6,394枚の利用があった。 今後も引き続き事業を実施する。	今後も引き続き事業を実施する。	
					実施						
711	事業8 地域にふさわしい補完的移動手段の導入	①新たなモビリティサービスの導入やMaaSに関する調査・研究	○新たなモビリティサービスやMaaSの研究	先進事例を調査し、環境負荷の低減につながり、既存の公共交通を補完する施策を検討する。	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画	R10計画	市が運行主体となる新たなモビリティサービスについて国ホームページ等により情報収集を行った。 今後も引き続きグリーンスローモビリティなどの新たなモビリティサービスの先進事例の調査等を行う。	今後も引き続きグリーンスローモビリティなどの新たなモビリティサービスの先進事例の調査等を行う。
						調査、実施検討					
811	事業9 分かりやすい情報発信	①公共交通マップの作成（官学連携）	○北部エリアのニーズ詳細調査・実証運行に向けた検討	北部エリアのニーズを詳細にヒアリングし、既存公共交通との共存や事業の持続性を考慮したうえで、実証運行に向け、地域にふさわしい補完交通を検討する。	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画	R10計画	今後、下記のとおり検討を進める。 ・第1回検討分科会（令和7年7月）で補完的移動手段の手法を決定 ・運行方針（案）検討の為、地域の詳細ニーズ調査を実施 ・第2回検討分科会（令和7年9月）で運行方針（案）の決定	今後、下記のとおり検討を進める。 ・第1回検討分科会（令和7年7月）で補完的移動手段の手法を決定 ・運行方針（案）検討の為、地域の詳細ニーズ調査を実施 ・第2回検討分科会（令和7年9月）で運行方針（案）の決定
						ニーズ調査					
911	事業9 分かりやすい情報発信	②主要な交通結節点における情報提供設備の整備検討	○公共交通マップの作成（官学連携）	日本大学の学生の協力のもと、公共交通マップを作成し、配布する。	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画	R10計画	日本大学理工学部交通システム工学科交通まちづくり工房地域活性化班と連携し公共交通の路線やバスのりば情報等をまとめた令和7年3月に公共交通マップを作成した。 市公共施設等で配布したほか、市ホームページに掲載した。今後、随時更新を図り、より分かりやすい情報発信に努めていく。	市公共施設等で配布したほか、市ホームページに掲載した。今後、随時更新を図り、より分かりやすい情報発信に努めていく。
						協議、順次実施					
921	事業9 分かりやすい情報発信	②主要な交通結節点における情報提供設備の整備検討		主要な交通結節点においてデジタルサイネージ等の情報提供設備を設置し、路線バスの運行状況等を提供することで、利用者に分かりやすい情報発信を行う。	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画	R10計画	デジタルサイネージ等の情報提供設備について、提供事業者から機器や導入事例等の情報収集を行った。 今後は、導入自治体から情報収集を行いつつ、設置場所や情報提供内容について検討を進めていく。	今後は、導入自治体から情報収集を行いつつ、設置場所や情報提供内容について検討を進めていく。
						調査、研究					